

科目名	家族関係学	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 4年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択/短期大学部 専攻科幼児教育学専攻 1年 2単位 選択	
担当教員	知野 愛			
開講期	前期			
授業概要	人間生活の基盤となる家族に焦点をあて、家族の意義と機能、家族の変化等を中心に考える。少子高齢社会の現状と課題を様々な視点で考える。最終回に、筆記試験採点後の答案を返却しフィードバックを行います。 位置づけ・水準:生活科学科DS2413、食物栄養学科FN2403、専攻科文化学専攻・専攻科幼児教育学専攻:専門関連科目			
達成目標	達成目標は、筆記試験で7割以上の得点となること。 単位認定の最低基準:内容の7割を理解していること。ディプロマ・ポリシーとの関係:1)知識理解、2)課題解決力			
受講資格	特になし		成績評価 方法	筆記試験(50点)、授業提出物(50点)
教科書	園井ゆり監修『第4版 家族社会学 基礎と応用』九州大学出版会 2022年			
参考書	随時提示			
学生への要望	授業テーマに関連する新聞記事や書籍を積極的に読み理解を深めて下さい。			
オフィスタイム	火曜Ⅱ限10:40-12:10、Ⅲ限13:00-14:30 地域創成学科No.1研究室(芸術館1階)			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の進め方と概要	シラバスに基づき授業概要・目標、成績評価法、今後の授業予定等を説明した後に、家族の定義について学ぶ。	復習:疑問点を調べ関連書籍を読む。予習:教科書pp.2-16を読み疑問点などを調べる。	60
2	家族とは何か	人間と家族、家族と世帯、家族構成、家族の変容について考察する。	復習:教科書pp.2-16を読み直し振返る。予習:教科書pp.17-31を読み疑問点を調べる。	60
3	家族の変動	家族変動論、産業化と家族変動の諸側面、家族変動の行方について考察する。	復習:教科書pp.17-31を読み直し振返る。予習:教科書pp.32-47を読み疑問点を調べる。	60
4	配偶者選択と結婚	配偶者の選択、結婚選択への過程、結婚について考察する。	復習:教科書pp.32-47を読み直し振返る。予習:教科書pp.48-63を読み疑問点を調べる。	60
5	夫婦関係	夫婦関係に関する社会的視点、家制度と夫婦関係、近代家族と夫婦関係、夫婦の勢力関係と情緒関係等について考察する。	復習:教科書pp.48-63を読み直し振返る。予習:教科書pp.64-78を読み疑問点を調べる。	60
6	親子関係	社会学から見た親子関係、家族周期と親子関係、ひとり親世帯・ステップファミリー・事実婚における親子関係について考察する。	復習:教科書pp.64-78を読み直し振返る。予習:教科書pp.79-93を読み疑問点を調べる。	60
7	高齢者と家族	現代社会における高齢者、高齢者の家族構成、高齢者と家族の関係性、老親扶養と家族関係について考察する。	復習:教科書pp.79-93を読み直し振返る。予習:教科書pp.96-110を読み疑問点を調べる。	60
8	結婚の多様化と家族	近代的な結婚、日本における近代的な結婚規範、企業社会と結婚等について考察する。	復習:教科書pp.96-110を読み直し振返る。予習:教科書pp.111-126を読み疑問点を調べる。	60
9	生殖補助医療と家族	生殖補助医療とは、諸問題、日本での状況、生殖補助医療をめぐる裁判事例他について考察する。	復習:教科書pp.111-126を読み直し振返る。予習:教科書pp.143-158を読み疑問点を調べる。	60
10	少子化と子育て支援	日本の少子化の状況、第二の少子化期の社会的動向、少子化対策、少子化の要因と背景等を考察する。	復習:教科書pp.143-158を読み直し振返る。予習:教科書pp.159-176を読み疑問点を調べる。	60
11	児童虐待と里親制度	児童虐待とその背景、里親制度の展開と意義、児童福祉の将来展望について学ぶ。	復習:教科書pp.159-176を読み直し振返る。予習:教科書pp.177-190を読み疑問点を調べる。	60
12	中高年世代と家族	中高年世代と家族変動、ロスジェネ世代が抱える問題、中高年者の社会的孤立、支援の仕組み等について学ぶ。	復習:教科書pp.177-190を読み直し振返る。予習:教科書pp.191-206を読み疑問点を調べる。	60
13	高齢者介護の諸問題	高齢者介護の動向と家族の抱える諸問題、家族政策と高齢者介護等について考察する。	復習:教科書pp.191-206を読み直し振返る。予習:教科書全体を読み学修全体を復習する。	60
14	授業全体の振り返り・筆記試験	授業全体の内容を振り返り、理解度を確認するために筆記試験を実施する。	復習:教科書全体を読み直す。予習:全体的に見て興味をもったテーマを検索し関連書籍を読む	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	筆記試験の結果講評・フィードバック	筆記試験の結果を返却し講評、フィードバックする。	復習:筆記試験結果を振り返り、更に興味を持ったテーマに関する書籍を読む。	60

科目名	衣生活文化論	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択/短期大学部 専攻科文化学専攻 1年 2単位 選択
担当教員	田辺 真弓		
開講期	前期		
授業概要	本科目は、人間生活学科の教育目標に沿って設けられている人間生活学科専門科目・生活学系の選択科目である。また、短期大学部専攻科文化学専攻の専門関連科目である。 衣服は人がそれを装うときに成り立つものであり、衣服の主人公は人間である。衣服にはいろいろな時代背景や社会状況の中で、人間の様々な心情が託されてきた。本講義では、衣服を人間の存在と結び付いて長い間に培われてきた文化のひとつとして捉え、衣服が着る人の心とどのようにかわっているかを考える。 衣服の機能、衣服への感情移入、衣服の流行、制度と慣習、日本と西洋との色彩感情の違い等に着目する。さらに服飾研究の進め方について例を挙げて解説し、服飾研究に対する関心を高める。 最終授業で全体に対するフィードバックを行います。 位置づけ・水準 HU2408		
達成目標	目標は ①衣生活の専門知識を修得し、それらを活用できること。 ②現代の衣生活をめぐる諸課題を発見分析し、解決する能力を身につけていること。 ③自己の専門知識を社会のために活かし、社会的責任を果たすことができること。 ④地域社会における衣生活に関する諸問題に新たな発想で取り組むことができること。 単位認定の最低基準は内容の7割を理解していること。 ディプロマ・ポリシーとの関係：1) 知識・理解、2) 課題探求力・問題解決力、4) 総合的な学習経験、創造的思考力		
受講資格	家政学部生活科学科生活総合コース 4年生 短期大学部専攻科文化学専攻 1年生	成績評価 方法	達成目標の到達度合いは課題レポート・期末レポートにより確認と評価を行う。 ①課題レポート 2回 20点 ②期末レポート 80点 60点以上で合格点とする。
教科書	教科書は用いず、資料を配布する。		
参考書	増田美子編『日本衣服史』吉川弘文館、小池三枝著『服飾文化論』光生館、小池三枝著『服飾の表情』勁草書房、徳井淑子著『服飾の中世』勁草書房、徳井淑子著『ヨーロッパ服飾史』河出書房新社、『衣服の百科事典』丸善出版株式会社・平成27年、一般社団法人日本家政学会編『被服学事典』朝倉書店・平成28年、その他は授業で紹介する。		
学生への要望	衣生活文化に関心をもつとともに、授業で紹介した参考文献にはできるだけ目を通し、自ら調べようとする姿勢を身につけること。		
オフィスタイム	教務部非常勤講師控室 金曜日1時限		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業計画の提示 生活文化博物館服飾説明	授業計画を提示し、授業目標ならびに授業内容について説明する。 図書館1階の生活文化博物館を見学し、当館に展示されている装束、ならびに時代背景についての解説を聴き、日本の服飾についての関心を高めるとともに理解を深める。	生活文化博物館見学の感想をまとめる。	60
2	なぜ衣服を着るのか 衣服の機能 表現と感情移入	衣服が持つ様々な機能について知る。また、衣服の機能のひとつである社会性について考えとともに、衣服による表現と衣服への感情移入について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
3	着心地とはなにか	着心地には物理的な着心地と、心理的な着心地とがある。ここでは衣服を着るときの心の状態を通して、個人・集団・文化のレベルで着心地について知り、衣服が着る人の心にどのように働きかけているかを考える。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
4	衣服の流行	衣服の流行はどのように発生して広がり、交代していくのか。また、それに付随してどのような現象が現れるか、また、それはどのような意味をもっているかについて、文献および絵画等の資料を参照しながら学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
5	日本の色と西洋の色	日本の色彩が季節感と密接に結びついているのに対して、西洋の色彩は季節感とほとんど結びついていないこと、また、日本と西洋では色彩の意味や用い方等に大きな違いがあることを知り、日本と西洋の色彩感情、色彩感覚が異なっていることを理解する。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	制度と慣習	日本の律令制における位の色や禁色、江戸時代の服飾に関する禁令、西洋の身分制度と服装等について知るとともに、日本の更衣(ころもがえ)や祝い着などにみられる慣習について学ぶ。また、更衣に連動して日本で伝統的に行われてきた衣料を使い切る衣生活について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
7	衣服の美感	日本の近世の美感である「だて」と「いき」とはどのようなことを表し、服飾の上にどのように現れているのかを絵画資料、図版資料、文献等を通して知る。また、あわせて西洋の「ダンディズム」、日本の明治期の「ハイカラ」について、それが服飾上にどのように現れ、どのような影響を及ぼしたかを理解する。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
8	「延喜式」織部司	大蔵省の管轄下に設けられていた織部司は天皇・皇后の御衣の材料となる織物を生産していたことで知られている。当時の織物技術と生産、さらに七夕の行事である乞巧宴について文献を手がかりに学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
9	「壺装束」と「むしのたれぎぬ姿」	平安時代に高貴な女性の外出着として、壺装束とむしのたれぎぬ姿が見られた。これらは文学作品や絵巻物にしばしば登場し、その多くは当時盛んに行われていた寺社詣の際の旅装であった。これらがどのような装束で、どのような意味をもっていたかを学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
10	「近世小袖」と町人服飾	近世小袖文様の流行と町人文化が花開いた元禄期の町人服飾について、雛形本、絵画資料、文学作品等を基に学び、服飾と当時の人々の生活との関わりを知る。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
11	近代日本の衣生活 (1) 文明開化と衣生活の変化	明治維新後の文明開化期は服飾にも大きな変化をもたらした。日本において洋服がどのように用いられるようになっていったかを絵画や写真資料ならびに文献等を基に年代を追って見ていき、当時の人々が衣服についてどのような思いをもち、どのような衣生活をしていたのかを知る。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
12	近代日本の衣生活 (2) 女性の服装の変化 婚礼服と喪服	一時流行するかに見えた女性の洋装の衰退と女性の改良髪型、女学生の袴の流行について知る。また、婚礼服の変化と日本の伝統的な喪の色の「白」や「浅黄」が西洋の喪の色の「黒」に変わり、黒の喪服が浸透し始めたことを学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
13	近代日本の衣生活 (3) 洋風の防寒衣料	西洋から羊毛織物がもたらされたことにより、男性の「二重廻し」、女性の「東コート」などの外套、「肩掛」や「赤毛布」などのはおりものが流行した。これらの和服に組み合わせる防寒衣料が日本の衣生活に急速に浸透していったことについて知る。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
14	近代日本の衣生活 (4) 働く女性と洋装の採用 学生服・子供服の洋装化	女性の洋装化は男性に比べて遅々として進まなかったが、明治末から大正にかけては女性の社会進出に伴い洋装化が進んだ。あわせて、「モボ」・「モガ」の出現、学生服・子供服の洋装化について学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60
15	近代日本の衣生活 (5) 繊維工業の進展 戦時体制下の衣生活	明治から昭和初期まで、日本の繊維工業は目覚ましく発展したが、日中戦争以降、戦争が拡大していくにしたがって衰退した。また、戦時体制下の衣生活はどのようなものであったかについて学ぶ。	本日の講義内容について、関心を持ったこと、ならびに感想をまとめる。	60

科目名	衣造形学実習Ⅱ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 1単位 選択
担当教員	田辺 真弓		
開講期	前期		
授業概要	本実習では、スカート製作を通して、技術力を向上させ、応用展開する力を養う。スカート製作を通して、デザイン、人体計測法、パターン製図、縫製用具の使用法、縫製方法、着装等を学ぶ。授業内容の概要は次の通りである。 ①機能性と美しさを兼ね備えた被服を製作するための基礎的な人体計測法を学ぶ。 ②パターン製図法ならびにデザイン展開方法を学ぶ。 ③被服材料の種類と扱い方を学ぶ。 ④仮縫いと補正方法について学ぶ。 ⑤縫製用具の使用法、各部分に適した合理的な縫製方法を学ぶ。 ⑥着装について学ぶ。 作品ならびにレポートを評価・返却し、コメント等によるフィードバックを行います。 位置づけ・水準 HU2412		
達成目標	目標は ①衣造形の実習を通して地域社会に貢献できる力を身につけていること。 ②柔軟で応用力のある創造的思考力を身につけていること。 ③現代の衣生活における多様な課題を発見し、分析・解決する能力を身につけていること。 ④衣造形に関する専門的知識を基に論理的に課題を探索し、他者と協調しつつ、主体的に問題を解決していく能力を身につけていること。 単位認定の最低基準は内容の8割を理解していること。 ディプロマ・ポリシーとの関係：1) 知識・理解、2) 課題探求力・問題解決力、4) 総合的な学習経験、創造的思考力		
受講資格	生活科学科生活総合コース4年生	成績評価 方法	達成目標の到達度合いの確認は次の①～③により評価する。 ①実習への取り組みの姿勢 20点 ②課題レポート 20点 ③完成作品 60点 ①～③の総合的評価60点以上を合格とする。
教科書	教科書は使用せず、『スカート製作ノート』を配付する。		
参考書	文化ファッション大系・服飾造形講座①『服飾造形の基礎』（文化出版局）、文化ファッション大系・服飾造形講座②『スカート・パンツ』（文化出版局）		
学生への要望	①遅刻・欠席をせず、実習に熱心に取り組み、授業中に規定の範囲まで進め、授業最終回までに完成させること。 ②実習用具・材料は指示通りに用意し、授業に持参すること。 ③完成させた作品を着装し、指導者に確認を受けた上でノートとともに提出すること。		
オフィスタイム	教務部非常勤講師控室 木曜日V時限		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業計画の提示	授業計画を提示し、授業目標ならびに授業内容について説明する。	シラバスを確認し、授業目標ならびに授業内容について理解する。	20
2	スカート製作についての説明	『スカート製作ノート』を配付し、スカート製作実習の進め方について説明する。	『スカート製作ノート』に目を通し、実習の進め方について確認する。	20
3	スカート製作のための採寸 スカートパターンの製図	パターン作成上必要な人体部位の採寸方法を知り、採寸する。タイトスカート、セミタイトスカートの製図方法を解説する。説明にしたがい、縮尺を用いてタイトスカート、セミタイトスカートの縮尺1/4の大きさの製図を行う。	タイトスカート、セミタイトスカートの製図方法を確認する。	20
4	スカートパターンのデザイン展開 実物大パターンの利用法	スカートデザインによるパターン展開方法を学ぶ。 市販の実物大パターンの利用法と留意する点について学ぶ。	市販の実物大型紙を利用する場合の注意点を確認する。	20
5	スカート・パターン作成	実物大のスカートパターンを作成し、正しく作成されているか点検する。	作成したスカートパターンを見直す。	20
6	スカート材料の説明	スカート生地（表地・裏地）の材質と用尺、ならびに付属品（ベルト芯・ファスナー・かぎホック・スナップ）、ミシン糸・手縫い糸について、見本を提示して説明する。これらを次回の授業時に持参する。	どのような材料を用いるかを考え、用尺について確認する。	20
7	表スカート生地の地直し	表スカート生地の素材にあった地直しの方法を学び、地直しをする。	地直しの方法を確認する。	20
8	表スカートの裁断	材質・織り・柄に適応した正しい裁断方法、柄合わせする上での注意点を学ぶ。パターンを生地の上に配置し、縫い代を付けて裁断する。	裁断方法、柄合わせする上での注意点を確認する。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	表スカートの印付け①	印付けにはどのような方法があり、生地に応じてどの方法を選択するかを学ぶ。チャコペーパーを用いた印付けの方法を確認するとともに、切りじつけの方法を学ぶ。	切りじつけの方法を確認する。	20
10	表スカートの印付け②	生地の種類により、切りじつけまたはチャコペーパーで印付けをする。	切りじつけを完了する。	20
11	表スカートの仮縫い①	しろもを用いた仮縫いの方法を学ぶ。縫製順序は①ダーツ⇒②脇縫い⇒③裾の置きじつけ	仮縫いの方法を確認する。	20
12	表スカートの仮縫い②	ベルト芯付け（仮縫いの際はベルト芯は生地で包まずにそのまま縫い付ける）	仮縫いを完了する。	20
13	スカートの試着・補正	仮縫いしたスカートを試着して、観察し、ゆとり量は適当か、体型に合わない時に現れるしわがないか、スカート丈は丁度よいか、裾線は水平になっているか、などを観察する。補正が必要な場合はその部分を縫い直す。	補正の方法についてノートにまとめる。	20
14	スカート・パターンの修正	補正を行った箇所についてパターンも修正し、どのように修正したかをパターンに書き込んでおく。	補正が正しく行われたか、また補正に伴い、パターンを正しく修正したかを確認する。	20
15	ダーツ・脇の本縫い	ミシンの上糸・下糸の掛け方ならびに糸調子の調整方法について確認し、スカート裁断時の残り布を用いて、試し縫いをする。本縫いを開始し、ダーツ、脇をミシンで本縫いし、アイロンで縫い目と縫い代を整える。	ミシンの取り扱い方法を復習する。	20
16	脇縫い代端、裾ヘムの裁ち目かがり	ロックミシンで脇縫い代端と裾ヘムの裁ち目かがりをする。	裁ち目かがりの方法にはどのようなものがあるかを調べてノートにまとめる。	20
17	ファスナー付け	ファスナーの合理的な付け方を学び、ファスナーを付ける。	ファスナーの合理的な付け方を確認する。	20
18	裾の始末	表に響かず、美しく、かつ丈夫な裾のまつり方について学び、裾を奥まつりする。	まつり方にはどのような種類があるかを調べてノートにまとめる。	20
19	裏スカートの裁断	裏地の役割を理解し、裏地の性質と裏地の扱い方を知り、裏スカートの裁断方法と縫製上の注意点を学ぶ。	裏地にはどのような種類があるかを調べ、ノートにまとめる。	20
20	裏スカートの縫製	裏スカートを縫製する。縫製順序は①ダーツ⇒②脇⇒③裾。ミシン縫い後、脇縫い代にロックミシンをかけ、裾縫い代を2cm幅の三つ折りにする。タイトスカートの場合は後ろ中心をあき止まりまで縫い、スリット部分を縫う。	裏スカートの縫製方法についてノートにまとめる。	20
21	脇の中綴じ、ファスナーまわりの始末	表スカート・裏スカートの脇縫い代をしろも2本どりで中綴じし、ファスナーまわりの始末（たてまつり）をする。	たてまつりを完了させる。	20
22	ファスナーまわりの星止め	ファスナーまわりに星止めすることの意味を知り、正しい方法で星止めをする。	星止めを完了させる。	20
23	ベルト作り	正確なウエスト寸法に仕上げるための注意点とベルト作りの方法を学ぶ。ベルト布にベルト芯を正しく配置し、縫い付ける。	ベルト作りの方法をノートにまとめる。	20
24	ベルト付け	美しく合理的なベルト付けの方法を学ぶ。ベルト布をスカート本体に縫い付け、縫い代の始末をする。	ベルト付けの方法をノートにまとめる。	20
25	スカートの仕上げ	仕上げ（糸ループ、かぎホック・スナップ付け、アイロンがけなど）を行う。	アイロンがけの注意点をまとめる。	20
26	スカートの完成	糸の始末が的確に行われているか、切りじつけをすべて取り除いているか、寸法は正しいか、縫製に誤りはないか、アイロンが美しくかけられているかなど、スカート全体をチェックし、完成を確認する。	完成を確認し、問題点があれば直す。	20
27	スカートの着装	スカートを着装して授業担当者に見せる。	これまでの実習を振り返り、自己評価する。	20
28	作品とノートの提出	『スカート製作ノート』の「スカート製作を終えて」の頁をもれなく記入し、作品とノートを提出する。	スカート製作過程で理解不足の点や疑問点があればまとめておく。	20
29	スカート製作のまとめ	スカート製作についてのまとめを行う。	疑問点について解決を試みる。	20

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
30	授業のまとめ	「衣造形学実習Ⅱ」で学んだ内容について振り返り、習得した技術を実生活にどのように生かしていくかについて考える。	今後この実習で学んだ知識と技術を今後どのように生かしていくか計画する。	20

科目名	食生活文化論	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択	
担当教員	菊池 節子			
開講期	前期			
授業概要	日本の伝統的な食文化である「和食」を始め、西洋料理、中国料理などの世界の料理と食文化について学び、これらの食文化を次世代に伝え継ぐ必要性を理解する。併せて、現代の食をめぐる諸課題と食育推進の必要性について理解する。 【課題に対するフィードバックの方法】 課題提出後、フィードバックの時間を設定し連絡します。 【位置づけ・水準】 HU2413			
達成目標	1.日本の食文化「和食」の特徴について理解できたか。 2.西洋料理、中国料理、その他の国の料理の食文化の特徴について理解できたか。 3.日本料理、西洋料理、中国料理のテーブルセティング・マナーについて理解できたか。 4.食をめぐる諸課題を踏まえ、健康な食生活を送るための食育の推進について理解できたか。 5.食文化を次世代に伝え継ぐ必要性を理解できたか。 【単位認定方法の最低基準】 授業内容の80％を理解していること。 【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】 ①知識・理解 ②総合的な学習経験、創造的思考			
受講資格	家政学部 人間生活学科生活総合コース 4年	成績評価 方法	①授業態度30％ ②課題提出20％ ②期末試験「レポート」50％	
教科書	江原絢子・石川尚子編『日本人の食文化「和食」の継承と食育 新版』 アイ・ケイ・コーポレーション 2,500円＋税			
参考書	江原絢子他『フードデザイン』 実教出版 香西みどり他『新調理師養成教育全書 必修編 第4巻 調理理論と食文化概論』公益社団法人 全国調理師養成施設協会			
学生への要望	食生活を取り巻く周辺は多岐にわたっています。日常生活の各場面において、常に食との関わり方に興味を示してください。			
オフィスタイム	月曜日と木曜日の16:00～17:05 研究室：家政学館1階「No.1 調理学研究室」			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の目標および導入	本授業の目標と授業の進め方を解説する。さらに、導入として、2012年、日本政府が「日本食文化」をユネスコ無形文化遺産に登録申請した経緯を解説し、日本の食文化を守り未来へ伝承することの必要性を理解する。	授業内容について要点をまとめる。	30
2	食文化の成り立ち	日本及び諸外国の食文化の成り立ちの要因について、代表的な食文化を取り上げ、気候や風土、宗教、風俗・習慣との関わりについて考察するとともに食文化を取り巻く現状について課題意識を持つ。	授業内容について要点をまとめる。	80
3	日本の食文化 食生活の変遷	日本の食生活の変遷について、各時代の特徴を理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
4	日本の食文化 日常食、行事食、郷土料理	日本の食文化として、先人の知恵や食の持つ文化的、歴史的な側面を考える。行事食については、伝統的な行事に伴う料理や食材料の由来や託された意味、日常食との違いについて触れ、生活の節目としての役割を理解する。また郷土料理については、地域に伝わる郷土料理を通して、地域の特徴を生かした食生活を考えることができるようにする。	授業内容について要点をまとめる。	80
5	日本の食文化 料理様式の発展	本膳料理、懐石料理、会席料理などの様式について、その流れや特徴、基本的な食事の作法などを理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
6	世界の食文化 世界の料理の特徴と文化	世界の主な食文化圏について、主食、調理方法、宗教と食物禁忌などの観点から分類した地域的な特徴を理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
7	世界の食文化 世界の料理の特徴と文化	西洋料理、中国料理、その他の料理について、食材料、料理・料理様式、食事作法等の特徴などを理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
8	フードデザインの構成要素 料理様式と献立	日本料理、西洋料理及び中国料理など代表的な料理様式について、それぞれの料理の献立構成を理解するとともに、献立作成の要点や手順などを踏まえて、目的や条件に応じた献立作成ができるようにする。また、様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーについて理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	フードデザインの構成要素 テーブルコーディネート	食事を心豊かにおいしく食べるためには、目でみて楽しく、食べる人の五感を満足させ、会話のはずむ食卓づくりが大切であり、各季節の行事等、もてなしの時だけでなく普段の食卓づくりにも食卓を演出することが必要であることを理解する。テーブルセッティングについては、それぞれの様式の食器の種類や特徴、盛り付けなどを学び、料理に応じた適切な選択が必要であることを理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
10	食文化の伝承と創造	家庭や社会の人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、伝統を踏まえた上で、時代に即応した食文化を受け入れると同時に、さらに新たな食文化を創造し、次世代に伝えていくことの意義を理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
11	健康と食生活 食事の意義と役割	食事は基本的には栄養素を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図るものであるが、同時に、嗜好を満たし人間関係の円滑化など精神的な役割や文化的な役割を果たしていることについて理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
12	健康と食生活 食生活の現状と課題（1）	我が国の健康や栄養状態の課題について、栄養の偏り、食習慣の乱れなどの実態や生活習慣病が増加していることなどを理解する。また、肥満と同時に、特に思春期の女子に、過度の痩身志向がみられることや、高齢者の低栄養傾向などの現状に気づき、健康な食生活についての課題を考える。	授業内容について要点をまとめる。	80
13	健康と食生活 食生活の現状と課題（2）	我が国の食生活を取り巻く現状と課題について、ライフスタイルの多様化や食品産業などの発展により、食の外部化や社会化、食関連情報の氾濫、食糧自給率や食のグローバル化等とも関連付けて、食の安全や地球環境に配慮した食の在り方を考える。	授業内容について要点をまとめる。	80
14	食育と食育推進活動	食育基本法、食育推進基本計画の趣旨を踏まえた食育の重要性、地域における食育の推進について理解する。併せて、家庭や社会の人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、ホームプロジェクトや学校家庭クラブなどを通じた食育の推進について理解する。	授業内容について要点をまとめる。	80
15	授業の総括	授業のまとめとして、ここでは、授業内容に関わる身近な話題を取り上げて解説する。さらに、外国の食文化を尊重しながら、日本の食文化を守り未来へ伝承することの必要性を再確認し、理解する。	授業内容について要点をまとめる。	30

科目名	人間環境学実験	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 1単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 1単位 選択	
担当教員	影山 志保			
開講期	前期			
授業概要	生命の維持には空気・水・食品の摂取が必須であることから、健康生活のためにはこれらの質が良好であることが重要である。具体的な環境汚染例としては、ダイオキシン等の有機塩素系化合物や、水俣病の原因物質であるメチル水銀、そして発がん性マイコトキシンであるアフラトキシン、催奇形性でよく知られた医薬品のサリドマイドを事例として、毒性物質の作用機序について、栄養素の代謝などと比較して、学んでいく。[課題に対するフィードバック方法]レポート、課題発表に対しては紙面あるいは口頭によるコメント等のフィードバックを行います。[位置づけ・水準]DA2476			
達成目標	この講義では生活環境である空気・水・土壌に着目し、生活環境を汚染している環境汚染物質が、食品や飲料水を介して、人間の健康にどのような問題を起こすのかについて実生活にあてはめ考えていくことを目標としており、内容の8割を理解していること。 [ディプロマポリシーとの関連] 知識・理解力、問題解決能力			
受講資格	特になし	成績評価 方法	①プレゼンテーション100点	
教科書	印刷資料提供			
参考書	薬理学関係の書物			
学生への要望	健康生活に必須である生活環境と食品の問題点について学び、実生活中に生かしてもらいたい。			
オフィスタイム	月曜日から金曜日の5コマ目、食品衛生学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	実験のスケジュール、内容、心得についてオリエンテーションを実施する。	環境問題で自分が興味を持っている問題について調べてくる。	60
2	空中浮遊微生物①	空中浮遊微生物の講義と空中浮遊微生物を捕集する培地を作成する。	空中浮遊微生物とについて調べる。	60
3	空中浮遊微生物②	学内数か所の空中浮遊粒子と空中浮遊微生物の捕集を行う。	空中浮遊粒子について調べる。	60
4	空中浮遊微生物③	学内数か所の空中浮遊粒子と空中浮遊微生物の捕集を行う。また、家庭で捕集した空中浮遊微生物の培養を行う。空中浮遊粒子の計測値をパソコンに打ち込みデータ整理を行う。	空中浮遊粒子について調べる。	60
5	空中浮遊微生物④	家庭と学内で捕集した空中浮遊微生物の培養結果を計測、観察行う。	食品工場の空中浮遊微生物基準を調べる。	60
6	空中浮遊微生物⑤	培地上に生育したカビと細菌について顕微鏡観察のためのプレバート作成を行う。	単染色、グラム染色について調べる。	60
7	空中浮遊微生物⑥	顕微鏡観察	空中から多く分離される微生物について調べる。	60
8	空中浮遊微生物⑦	顕微鏡観察	微生物を顕微鏡で見たときの特徴について調べる。	60
9	空中浮遊微生物⑧	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
10	空中浮遊微生物⑨	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
11	空中浮遊微生物⑩	プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
12	空中浮遊微生物⑪	プレゼンテーション	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
13	残留農薬実験①	残留農薬とは何か、講義を実施する。	残留農薬について調べる。	60
14	残留農薬実験②	グレープフルーツから残留農薬を抽出する。また、実験に使用する寒天培地の作成を行う。	食品添加物として残留農薬が使用されている食品について調べる。	60
15	残留農薬実験③	抽出した残留農薬を濃縮し、抗菌性、抗かび性試験を行う。	抗菌性、抗かび性試験について調べる。	60
16	残留農薬実験④	抗菌性・抗かび性試験の結果を計測し、グレープフルーツ上に付着している農薬の濃度を求める。	検量線について調べる。	60
17	残留農薬実験⑤	実験結果の考察を行う。	グレープフルーツの残留農薬基準について調べる。	60
18	残留農薬実験⑥	発表会の準備を行う。	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
19	合成着色料実験①	発表会の準備を行う。	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
20	合成着色料実験②	発表会を実施する。	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
21	合成着色料実験③	合成着色料についての講義	合成着色料について調べる。	60
22	合成着色料実験④	合成着色料の表示を確認し、食品から合成着色料を抽出する。	合成着色料の健康影響について調べる。	60
23	合成着色料実験⑤	抽出した合成着色料を濃縮する。合成着色料の標品を準備する。	薄層クロマトグラフィーについて調べる。	60
24	合成着色料実験⑥	標品と抽出物の薄層クロマトグラフィーを行う。	薄層クロマトグラフィーに用いる添加溶媒について調べる。	60
25	合成着色料実験⑦	薄層クロマトグラフィーの結果を計測し、計算値を求め評価を行う。	Rf値について調べる。	60
26	合成着色料実験⑧	得られた結果について考察を行う。	結果の解析について調べる。	60
27	合成着色料実験⑨	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
28	合成着色料実験⑩	プレゼンテーションの作成	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
29	合成着色料実験⑪	プレゼンテーションの準備	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60
30	合成着色料実験⑫	プレゼンテーション	プレゼンテーションに必要な情報を調べる。	60

科目名	生活色彩論	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択	
担当教員	松田 理香			
開講期	前期			
授業概要	色彩の基礎を学びます。物理的側面と心理的、生理的側面を概観しながら、日常生活における色彩の役割について学びます。色が見えるとはどういうことか、色の役割、色の分類や名前、心理効果、配色などについて解説します。毎授業の最後に簡単な確認問題に取り組みます。また色相やトーン体系を理解するために、色材を使つての混色演習や、配色カードを用いた課題に取り組むとともに、色覚弱者についても学びます。 提出作品や確認問題の答え合わせの際には解説やコメントなどによるフィードバックを行います。 DA2124			
達成目標	色彩に関する知識（検定試験3級程度）を身につけることを目標とします。 ・単位認定の最低基準：課題、確認問題などの提出（ルーブリック評価に基づいて判定します） ・ディプロマ・ポリシーとの関係：①知識・理解、②総合的な学習経験、創造的思考力			
受講資格	生活科学科 4年生	成績評価 方法	確認問題(60点)、演習課題(40点)で総合的に評価しますが、講義内容の7割程度の理解を期待します。	
教科書	ありません。 各単元ごとに資料を配布します。			
参考書	○演習課題で使用する資料 （資料についてのガイダンスを行い購入希望者がいた場合はまとめて発注します） ・日本色彩研究所監修 ①新基本色表シリーズ4 (PCCS) ②新配色カード199a ○参考書 ・色彩学概説（千々岩英彰著：東京大学出版） ・カラーマスターベーシック（NPO法人アデック出版局／色彩士検定参考書）他			
学生への要望	・日常生活の中で色彩が果たす役割について考えてください。 ・演習課題で使用するハサミやカッター、のりなどは各自で準備してください。			
オフィスタイム	金曜日 Ⅰ・Ⅱコマ 場所：芸術館1階 No.2工芸室（研究室）			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス	1. 授業の目的や内容について説明する。 2. 色を見るときはということか、色の役割などについて考える。	ガイダンスで配布された資料をもとに生活の中にある色の役割を考える。	30
2	講義：色のなりたち（1）	1. 色を感じる経路 2. 光 3. 物体の色 4. 色を見るための光源 ※確認問題 1	色が見える仕組みや光とは何かについての理解を深める。	60
3	講義：色のなりたち（2）	5. 光がつくる自然の色 6. 目の構造と視細胞 ※確認問題 2・3	目の構造について資料や確認問題を参考に理解を深める。	60
4	講義：色の分類（1）	1. 有彩色と無彩色 2. 色の三属性	色の整理分類について理解を深める。	60
5	講義：色の分類（2）	3. トーン（トーンの位置とトーン名、イメージ等） 4. 色立体 5. PCCS色彩体系（日本色研配色体系）	色の表示方法について資料を参考に理解を深める。	60
6	講義：色の表示方法（1）	1. 表示方法の分類 ① 記号による表示 2. 表色系（マンセル、PCCS、オストワルト、XYZ等） ※確認問題 4-9	色の表示方法について資料を参考に理解を深める。PCCSによる色彩体系について理解を深める。	60
7	演習1：PCCSの色彩体系	〔演習課題〕 新配色カード199aを用いて以下の台紙に色紙を貼る作業を行う。 ①12色相環 ②PCCSトーン別色相環 ③PCCS色相・トーン一覧表	新配色カードを用いた台紙を完成させ、色の体系についての理解を深める。	120
8	講義：色の表示方法（2）	1. 表示方法の分類 ② 色名による表示 2. JIS標準色票と用途について ※確認問題 10・11	色の表示方法について資料を参考に、PCCSによる色彩体系も含めて理解を深める。JIS標準色票について理解を深める。	120

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	講義：混色	1. 混色と等色 2. 三原色 3. 加法混色 4. 減法混色 5. 色材の混色 ※確認問題 12	混色について配布資料や確認問題を参考にして理解を深める	60
10	講義：色の知覚効果	1. 色の対比効果 2. 色の同化効果 3. 色の伝達効果 4. さまざまな色の見え方 ※確認問題 13～15	色の知覚効果について資料や確認問題をもとに理解を深める。	60
11	講義：色の心理効果 演習2：トーンとイメージの2色配色	1. 色の感情効果 2. 色のイメージと連想 3. 色の象徴性 ※確認問題 16 [演習課題] 新配色カード199aを用いて以下の台紙に色紙を貼る作業を行う。 ④色の心理効果	色の心理効果について資料や確認問題をもとに理解を深める。	60
12	講義：色彩調和 (1)	1. 配色と色彩調和 2. 色彩調和の原理 3. 色彩調和の形式 4. 配色の基本的な考え方 5. 色相を基準にした配色	色彩調和について資料を参考に振り替える。特に、色の調和とは何かについて理解を深める。	120
13	講義：色彩調和 (2)	6. トーンを基準にした配色 7. 基本的な配色技法 8. 慣習的な配色技法 9. 秩序の原理による配色の形式 10. 配色とイメージ ※確認問題 17・18	色彩調和について資料を参考に振り替える。特に、配色とは何かについて理解を深める。	60
14	演習3：配色演習	[演習課題] 新配色カード199aを用いて配色演習を行う。 ⑤色相を基準にした配色 ⑥トーンを基準にした配色 ⑦配色技法	⑤～⑦の配色演習に取り組むことにより、配色についての理解を深める。	60
15	講義：色のユニバーサルデザイン まとめ	1. 色弱者の見え方 2. 高齢者の見え方 3. ユニバーサルデザイン 4. 見えづらい例と改善例 【まとめ】 1. 講義のまとめ 2. 演習課題のまとめ 3. その他 色彩に関する検定試験について	色のユニバーサルデザインについて配布資料を参考にして理解を深める。 これまでの資料や演習課題を振り返り、色彩の基礎について理解を深める。	30

科目名	福祉行財政と福祉計画	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択	
担当教員	遠藤 広文			
開講期	後期			
授業概要	国や地方自治体における行財政や各種福祉計画の体系及び策定手順を理解し,財政の仕組みと福祉計画の視点を学ぶ。 郡山市保健福祉部において各種の福祉計画策定に従事した経験を活かして、計画策定における具体的な事例を示すなど、理解が進むように授業を進める。 実務経験：郡山市に36年勤務し、企画部門、財務部門をはじめ福祉部門として福祉事務所社会福祉課（社会福祉主事、3年間）及び保健福祉部（部長、4年間）を経験。 課題やレポートなど、最終授業で全体に対するフィードバックを行います。 位置づけ・水準 HW2461			
達成目標	①福祉行財政の実施体制（役割や財政、各機関との関係性、専門職の役割など）や実際について理解する。 ②福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。 単位認定の最低基準は、：「内容の8割を理解していること」 ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任			
受講資格	人間生活学科福祉コース	成績評価 方法	定期試験50％、課題50％。	
教科書	新・社会福祉士養成講座10 「福祉行財政と福祉計画」中央法規			
参考書	適宜指示する。			
学生への要望	・専門用語など難解な単語を事前に学習し、授業内容の理解に努めてほしい。 ・主体的・積極的に学ぼうとする姿勢を期待する。			
オフィスタイム	月曜日Ⅳ時限・金曜日Ⅲ時限 創学館4F、No.6研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	福祉行財政と福祉計画 1	・オリエンテーション ・福祉と制度 2回目以降適宜単元テストを行う。また、適時、学生自身の考えや発想を発表し、ディスカッションやグループワークを取り入れた双方向型の授業を行う。	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
2	福祉行財政と福祉計画 2	・社会福祉の法制度の展開 ・福祉計画の概要	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめ振り返る	45
3	福祉行政 1	・行政の骨格 ・社会福祉と法制度	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
4	福祉行政 2	・福祉行政の組織 ・社会福祉基礎構造	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
5	福祉財政 1	・財政と社会福祉 ・一般会計予算と社会保障関係費の動向 ・地方自治体の財政と民生費の動向	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
6	福祉財政 2	・民間社会福祉事業の財源 ・福祉サービスの利用と費用負担	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
7	福祉行財政の組織・団体と専門職の役割 1	・社会福祉基礎構造改革 ・相談過程と体制	・テキストで授業内容を確認する ・課題を行う（社会保障費・民生費について）	90
8	福祉行財政の組織・団体と専門職の役割 2	・専門諸機関について	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
9	福祉行財政の組織・団体と専門職の役割 3	・地域の相談システム ・専門職	・テキストで授業内容を確認する ・課題を行う（各種福祉計画の目的と連動性）	90
10	福祉計画の目的と意義	・福祉計画の目的と意義 ・福祉援助の現場から福祉計画へ ・計画のサイクルと福祉援助の現場	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
11	福祉計画の理論と技法 1	・福祉計画の基本的視点 ・福祉計画の過程と留意点	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
12	福祉計画の理論と技法 2	・福祉計画におけるニーズ把握 ・福祉計画における評価 ・福祉計画における住民参加	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45
13	福祉計画の実際 1	・福祉計画の事例研究の視点 ・老人福祉計画・介護保険事業計画	・テキストで授業内容を確認する ・授業のポイントをまとめる	45

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	福祉計画の実際2	・ 障害者計画・ 障害福祉計画 ・ 次世代育成支援行動計画	・ テキストで授業内容を確認する ・ 授業のポイントをまとめる	45
15	福祉計画の実際4 まとめ	・ 地域福祉計画 ・ 課題、レポートなどのフィードバック	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 授業のポイントをまとめる	45

科目名	福祉サービスの組織と経営		対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択
担当教員	近内 直美			
開講期	前期			
授業概要	福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割を理解し、組織の運営と経営に係る基礎的な理論や実際、及び福祉人材のマネジメント等について学ぶ。 発表やグループワークによる双方向性の授業を適宜行う。 レポートについて、最終授業でコメントや質疑応答によりフィードバックします。 社会福祉法人での管理業務や相談員育成の経験を生かし、実践に役立つ知識を生かした授業を行います。 実務経歴：社会福祉法人笑風会 事業部長として勤務 位置づけ・水準 HW2462			
達成目標	①ソーシャルワークにおいて必要となる、福祉サービスを提供する組織や団体の概要について理解する ②社会福祉士に求められる福祉サービスの組織と沿革、経営の視点と方法を理解する ③福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論、労働者の権利等について理解する ④福祉サービスに求められる福祉人材マネジメントについて理解する 単位認定の最低基準は、：「内容の8割を理解していること。」 ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任			
受講資格	生活科学科学生		成績評価 方法	試験50%、課題50%
教科書	最新 社会福祉士養成講座 1 福祉サービスの組織と経営 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育教育学校連盟編集 中央法規出版			
参考書	適宜指示する			
学生への要望	社会福祉施設や団体の概要とその運営について必要な理念や理論を理解してください。 また、人事管理、運営管理の必要性と理論について理解してください これらについて幅広い視点を持ち、テキスト以外の書物も活用し、知識を吸収してください			
オフィスタイム	水曜日Ⅰ・Ⅱ限 創学館4F、NO. 6研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション	・授業の進め方と概要について 自主学習を行った内容の発表や、福祉・医療に関する組織の運営や経営についての意見交換等を行う双方向型の授業を2回目以降適時行う。	「福祉サービスの組織と経営」についての概要をテキストで確認する	30
2	福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割①	福祉サービスを提供する組織 ・福祉サービスを提供する組織の概要（種類、その設立から特性、役割等）	・テキストで予習を行う ・授業内容のポイントをまとめる	30
3	福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割②	福祉サービスの沿革と概要 ・福祉サービスの歴史 ・社会福祉基礎構造改革 ・社会福祉法人制度改革 ・公益法人制度改革とその推進	・テキストで予習を行う ・授業内容のポイントをまとめる	30
4	福祉サービスに係る組織や団体の概要と役割③	組織間連携と促進 ・組織間連携とは何か ・基礎となる理論 ・組織間連携の意義 ・組織間連携(地域連携を含む) マネジメントの要素	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
5	福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論①	組織運営に関する基礎理論 ・社会福祉分野における組織の特徴と特異性 ・組織に関する基礎理論と組織による意思決定 ・組織における3要素 ・コンフリクトへの対応（問題解決の施行と手順を考える） ・モチベーションと組織の活性化	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
6	福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論②	集団の力学に関する基礎理論 ・集団とは何か ・集団力学（グループダイナミクス） ・チーム機能とチームアプローチ	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	福祉サービスの組織と運営に係る基礎理論③	リーダーシップに関する基礎理論 ・リーダーシップとは（機能と役割とは） ・代表的なリーダーシップ理論 ・フォロワーシップ理論 ・福祉サービスにおけるリーダーシップ/フォロワーシップ	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
8	福祉サービス提供組織の経営と実際①	経営体制 ・社会福祉法人の経営体制（理事会・評議会等の役割、経営戦略や事後湯計画、マーケティング等）	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
9	福祉サービス提供組織の経営と実際②	福祉サービスの提供組織のコンプライアンスとガバナンス ・コンプライアンス（社会的ルールの遵守、説明責任の遂行） ・ガバナンス（業務管理体制、内部管理体制の整備、権限委譲と責任のルール化）	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
10	福祉サービス提供組織の経営と実際③	適切な福祉サービスの経営管理 ・福祉経営の特質（品質とマネジメントシステム） ・福祉経営の理念と戦略、マーケティング（PDCAとSDCA管理サイクル） ・権利擁護と苦情解決体制、リスクマネジメント ・福祉サービスの質の向上と評価、サービスマネジメント	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
11	福祉サービス提供組織の経営と実際④	情報管理 ・福祉サービスの経営と運営の情報 ・福祉改革と情報の担う役割の拡大と福祉サービスの情報 ・福祉サービスの情報と管理、運用 （個人情報保護法、公益情報保護法、情報公開、パブリックリレーションズ）	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
12	福祉サービス提供組織の経営と実際⑤	会計管理と財務管理 ・財務管理、会計管理とは ・福祉サービスの財源 ・社会福祉法人の財務諸表財務諸表 財務諸表の理解と財務規律の強化、自主財源や寄付金と各種制度に基づく報酬について、資金調達とファンドレイジング、資金運用と利益管理について	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
13	福祉人材のマネジメント①	福祉人材のマネジメント ・福祉人材のマネジメントの基本（ ・人材確保と採用、配置と異動 ・報酬システム ・人材の評価(目標管理制度と人事考課・評価システム)	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
14	福祉人材のマネジメント②	福祉人材の育成 ・福祉人材育成の必要性 ・経営組織と人材育成（OJT,OFF-JT、SDS、スーパービジョン体制） ・キャリアパスの構築とキャリアアップ支援（職能別研修と階層別研修） ・働きやすい労働環境の整備 労働管理と労使関係管理（労働3法及び労働関係法令） 働きやすい労働環境の整備（メンタルヘルス対策、ハラスメント対策）	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30
15	まとめ 達成状況の確認	・レポートのフィードバックと授業の振り返り ・確認テスト実施	・テキストにて予習する ・授業のポイントをまとめる	30

科目名	保健医療サービス	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択	
担当教員	近内 直美			
開講期	前期			
授業概要	保健医療の動向、政策や制度、サービスについて理解し、社会福祉士の役割を果たすための他職種や他機関との連携や協働について学び、適切な支援の在り方について理解を深める。 発表やグループワークを行い、適宜双方向性の授業を行う。 レポートは最終授業で全体に対するフィードバックを行います。 総合病院に委託された地域包括支援センターの社会福祉士として総合病院や地域のクリニック、行政や福祉サービスの事業所と連携し、疾病を持つ人々への支援の経験を活かし制度や知識、技術が実践で活用できるように授業を行う。 実務経験：郡山中央地域包括支援センター 位置づけ・水準 HW2464			
達成目標	①ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を理解する ②保健医療に係る政策、制度、サービスについて理解する ③保健医療領域における社会福祉士の役割と、連携や協働について理解する ④保健医療の課題を持つ人に対する、社会福祉士としての適切な支援の在り方を理解する 単位認定の最低基準は、：「内容の8割を理解していること」 ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任			
受講資格	生活科学科 学生	成績評価 方法	試験50％、課題50％	
教科書	最新 社会福祉士養成講座 5保健医療と福祉 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 中央法規出版			
参考書	適宜指示する			
学生への要望	医療法等の法律や制度の仕組みを習得し、専門用語の理解に努めてください。			
オフィスタイム	水曜日Ⅰ・Ⅱ限 創学館4F研究室No.6			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション 保健医療の課題を持つ人の理解 1	授業概要の説明 病者の理解 医療に関する制度や不明な言葉などについて課題の発表やグループワークなど双方向型授業を2回目以降も適時行っていく。	・保健医療サービス（福祉）の概要を知る	30
2	保健医療の課題を持つ人の理解 2	家族の理解 患者の権利 ・患者の権利とは、患者の権利の進展 ・自己理解とインフォームド・コンセント、インフォームド・アセント	疾病や障がいによって起こる生活課題について理解する	30
3	医療倫理 1	医療倫理と倫理的課題 ・医療倫理の4原則、高度性生殖医療、出生前診断、脳死と臓器移植、尊厳死、身体抑制等	・不明な単語の意味を調べる ・課題を行う（医療施設の機能・類型）	30
4	医療倫理 2	患者の意思決定をめぐる課題 ・意思決定支援、アドバンスケアプランニング	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
5	保健医療の動向 1	疾病構造の変化 ・感染症、生活習慣病	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
6	保健医療の動向 2	入院医療から在宅医療/病院完結型医療から地域完結型医療へ ・入院医療から在宅医療/病院完結型医療から地域完結型医療へ、病院や病床の機能分化 ・保健医療における福祉的課題、在宅医療の課題	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
7	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識 1	保健医療の政策・制度 保健医療サービスの提供体制① ・保健所、5 疾病5事業、薬剤耐性対策	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
8	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識 2	保健医療サービスの提供体制② ・医療法の概要と医療計画、医療提供施設の概要、在宅医療サービス、医療提供体制の整備	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識3	医療費の保障① ・保険料の減免や高額療養費制度などの医療費保障制度、労災保険、傷病手当金、特定疾患医療費助成制度など	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
10	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識4	医療費の保障② ・公費負担医療制度、無料定額診療、診療報酬制度	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
11	保健医療領域における専門職の役割と連携①	保健医療領域における専門職と院内連携	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
12	保健医療領域における専門職の役割と連携②	地域包括ケアシステムにおける連携 地域医療との連携の実際（病診連携、病病連携）	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
13	保健医療領域における専門職の役割と連携③ 保健医療における支援の実際①	医療機関におけるソーシャルワーカーが所属する部門の構築 保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割（医療ソーシャルワーカーの業務指針）	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
14	保健医療における支援の実際②	入退院から回復期、在宅医療の支援（リスクのある人の理解と入院から退院、在宅への支援） 終末期ケア、救急現場、周産期、認知症、災害現場の支援	・不明な単語の意味を調べる ・授業のポイントをまとめる	30
15	授業の振り返り 達成度の評価	レポートについて全体的なフィードバックを行う 確認テストを行う	・授業のポイントをまとめる	30

科目名	相談援助演習Ⅲ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択	
担当教員	近内 直美,島野 光正			
開講期	前期			
授業概要	①ソーシャルワークの理論、モデルの枠組みについて理解する。 ②人と環境とその相互作用について、ソーシャルワーカー固有の概念に基づいて理解する。 ③理論あるいはモデルに準拠して人と環境とその相互作用を理解し、実際の援助技術の活用について理解する。 事例を用いて課題の発見と解決についてグループワークを行い発表や意見交換により、モデル及びアプローチなどを実践的に学ぶ。 課題やレポートは最終授業で全体に対するフィードバックを行います。 授業担当回数 近内：第 1回～第15回 島野：第16回～第30回 近内直美 地域包括支援センターでの社会福祉士の経験を活かし、実践に結びつく授業を行う。 実務経験：郡山中央地域包括支援センター（所長・社会福祉士） 島野光正 地域包括支援センターでの社会福祉士、及び在宅医療・介護連携支援センターでのソーシャルワークの経験を活かし事例に基づいた実践と今日的なソーシャルワークの展開に結びつく授業を行う。 実務経験：片平・喜久田地域包括支援センター（管理者・社会福祉士・主任介護支援専門員）、郡山市在宅医療・介護連携支援センター（所長・社会福祉士） 位置づけ・水準 HW2464			
	①ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。 ②社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。 ③支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。 ④地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。 ⑤ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。 ⑥実習を通じて体験した事例について、事例検討や事例研究を実際に行い、その意義や方法を具体的に理解する。 ⑦実践の質の向上を図るため、スーパービジョンについて体験的に理解する。 ＜ソーシャルワーク実習前に行うこと＞ 個別指導並びに集団指導を通して、実技指導 単位認定の最低基準は、：内容の8割を理解していること ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任			
	受講資格	相談援助演習Ⅰ・Ⅱを修了していることを原則とする。	成績評価 方法	演習の参加状況70％、課題30％
	教科書	「社会福祉士 相談援助演習」第2版 一般社団法人日本社会福祉士養成校協会 中央法規		
	参考書	適宜指示する。		
学生への要望	主体的・積極的に発言し学ぼうとする姿勢を期待する。			
オフィスタイム	近内：水曜日Ⅰ・Ⅱ時限 創学館4F No.6研究室 島野：火曜日Ⅰ・Ⅱ時限 研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション 相談援助の技術と方法 1 近内	相談援助技術と方法の振り返り① 2回目以降も含め、授業内容に応じて、ディスカッションを行うなど、双方向型の授業を行う	・相談援助を行う上で必要な振り返りを行う	15
2	相談援助の技術と方法 2 近内	相談援助の技術と方法の振り返り②	・相談援助のポイントをテキストで振り返りをしておく ・相談援助のついてポイントをまとめる	30
3	地域を基盤とした相談援助演習 1 近内	地域福祉計画の策定に関する相談援助演習	・不明な単語の意味を調べる ・事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	地域を基盤とした相談援助演習 2 近内	地域におけるサービス提供に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
5	地域を基盤とした相談援助演習 3 近内	地域におけるネットワーキングに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
6	地域を基盤とした相談援助演習 4 近内	地域における権利擁護活動に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
7	地域を基盤とした相談援助演習 5 近内	社会資源の把握、活用、調整、開発に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
8	地域を基盤とした相談援助演習 6 近内	住民参加と組織化活動に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
9	地域を基盤とした相談援助演習 7 近内	ソーシャルアクションに関する相談援助演習 アウトリーチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
10	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 1 近内	医学モデル・社会モデル・生活モデルに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
11	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 2 近内	ストレングスモデルに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
12	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 3 近内	心理社会アプローチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 4 近内	問題解決アプローチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
14	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 5 近内	危機介入アプローチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
15	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 6 近内	行動変容アプローチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
16	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 7 島野	認知行動療法に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
17	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 8 島野	エンパワメントアプローチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
18	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習 9 島野	ナラティブアプローチに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 事例に関するモデルやアプローチをまとめておく。 ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
19	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習10 島野	家族システム論に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
20	実践モデルやアプローチに関する相談援助演習11 島野	ケースマネジメントに関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
21	社会問題を基盤とした相談援助演習1 島野	社会的排除に関する相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
22	社会問題を基盤とした相談援助演習2 島野	ミクロ・メゾ・マクロ実践に焦点を当てた相談援助演習②	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
23	社会問題を基盤とした相談援助演習 3 島野	サービス評価に関する発表及び相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
24	社会問題を基盤とした相談援助演習3 島野	就労支援（障がい者）に関する発表及び相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
25	社会問題を基盤とした相談援助演習 4 島野	就労支援（母子）に関する発表及び相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
26	社会問題を基盤とした相談援助演習 5 島野	病院からの退院に関する発表及び相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
27	社会問題を基盤とした相談援助演習 6 島野	家庭内暴力（ドメスティック・バイオレンス：DV）に関する発表及び相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
28	社会問題を基盤とした相談援助演習 7 島野	虐待（高齢者）への相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
29	対象者別にみた相談援助演習 1 島野	ホームレスへの相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30
30	対象者別にみた相談援助演習 2 島野	障害者とその家族への相談援助演習	・ 不明な単語の意味を調べる ・ 発表担当時には発表の準備を行う ・ 授業のポイントをまとめ、事例を振り返る	30

科目名	相談援助実習指導Ⅲ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 1単位 選択	
担当教員	近内 直美,熊田 伸子,島野 光正			
開講期	前期			
授業概要	学習の目的・ねらい：相談援助実習における積極性と福祉サービスを利用する人の背景を感じ取り理解と共感をもつ体験を得ると共に情報の整理や実習の準備、実習計画の作成、記録のあり方などを体験できるように学ぶ。 授業の概要：ソーシャルワーク実習の意義や社会福祉士の役割や活動についての学びを深め、より専門職として援助ができるよう相談援助実習Ⅰ・Ⅱでの体験を振り返り、理論を持ち知識や技術が実践に活かせるよう学ぶ。 発表などを適宜行い、双方向性の授業を行う。 近内が1～2回と12～14回、4～5回と9～11回を島野が、6～7回を熊田、近内、島野の3名が、3回、8回、15回を近内と島野2名で担当する。 近内が地域包括支援センターや病院での相談業務の経験を活かし、社会福祉士の役割や専門性について授業を行う。 実務経験 地域包括支援センターの社会福祉士として勤務、相談業務にあたる。 島野が地域包括支援センターでの相談援助業務、在宅医療・介護連携支援センターでのソーシャルワーク業務の経験を活かし、様々な場面で働く社会福祉士の機能や専門性、基盤となる倫理と価値についての授業を行う。 実務経験：地域包括支援センターで社会福祉士として相談援助業務、在宅医療・介護連携支援センターで社会福祉士として在宅医療・介護連携のネットワークの構築や連携にかかわる業務を行う。 課題に対するフィードバックの方法 ・実習計画書を添削・返却し、コメントによるフィードバックを行う。 位置づけ・水準 HW2473			
達成目標	①ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 ②社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づき専門職としての姿勢を養う。 ③ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 ④実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する。 単位認定の最低基準：習先の相談援助で必要とされる知識と技術の活用方法、計画書の作成について8割が理解できている。 ディプロマ・ポリシーとの関係：論理的思考・問題解決力、倫理的・社会的責任、総合的な学習経験・創造的思考力			
受講資格	社会福祉士課程履修登録者		成績評価 方法	実習計画書の作成 60% 演習40%
教科書	8 最新 社会福祉士養成講座 ソーシャルワーク実習指導 ソーシャルワーク実習[社会専門] 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 中央法規			
参考書	随時紹介する			
学生への要望	PCを使用し実習計画書の作成			
オフィスタイム	熊田 木曜日Ⅰ,Ⅱ時限 創学館4F、No.6研究室 近内 水曜日Ⅰ,Ⅱ時限 創学館4F、No.6研究室 島野 木曜日Ⅲ・Ⅳ時限 研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	実習後の学習① 近内	実習成果の報告 相談援助Ⅰ・Ⅱの振り返り	相談援助実習Ⅰ・Ⅱの体験を通し、相談援助実習Ⅲの課題を考える	60
2	実習後の学習② 近内	自己評価と実習施設評価の比較	自己評価を行う	60
3	実習先決定に向けた準備 近内・島野	実習施設・機関の決定 ソーシャルワーク実習分野と施設・機関の理解	自分の地域のソーシャルワーク実習を学ぶ 施設・機関を調べる	60
4	実習先決定後の準備① 島野	実習施設・機関の情報収集 関連する社会資源	実習施設の基本的情報、職員に関する情報、対象となる利用者に関する情報、地域資源等について調べる	60
5	実習先決定後の準備② 島野	実習施設・機関で求められる価値・知識・技術	ソーシャルワーカーの職業倫理を確認する	60
6	実習計画書の作成① 熊田・近内・島野	実習目標・課題を設定し、実習計画書を作成する	ガイドラインを確認する	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
7	実習計画書の作成② 熊田・近内・島野	実習目標・課題を設定し、実習計画書を作成する 実習生個人調書の作成	ガイドラインを確認する	60
8	社会福祉士の職業倫理 近内・島野	実習生個人調書・実習計画書の修正と提出 社会福祉士としての職業倫理 組織の一員としての役割と責任	職業倫理について、実習で学んだ点をまとめる	60
9	ソーシャルワーク実践に求められる技術① 島野	アウトリーチ ネットワーキング	言葉の意味を調べる	60
10	ソーシャルワーク実践に求められる技術② 島野	コーディネート ネゴシエーション	言葉の意味を調べる	60
11	ソーシャルワーク実践に求められる技術③ 島野	ソーシャルアクション ファシリテーション プレゼンテーション	言葉の意味を調べる	60
12	記録の意味と必要性 近内	記録作成の意味	記録の必要性を調べる	60
13	実習記録の書き方 近内	実習記録の意味 実習記録の書き方	実習の手引きを復習する	60
14	実習事後指導① 近内	実習報告書の作成について	授業内容を整理し、ノートにまとめる	60
15	実習事後指導② 近内・島野	実習報告会で全体の総括を行い、評価をフィードバックする。	授業内容を整理し、ノートにまとめる	60

科目名	相談援助実習Ⅲ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択	
担当教員	近内 直美,島野 光正			
開講期	前期			
授業概要	・現場におけるソーシャルワーカーの役割を個別支援計画の作成、・スーパービジョン・情報公開・第三者 評価・苦情処理・危機管理・運営管理・関連職種との関係の中で質疑応答を通じて体験的に理解する。 ・相談援助実習Ⅲは、1日8時間で15日間（120時間）の学外実習を行う。 同一施設で120時間以上の実習を行うことにより、社会福祉士国家試験の受験資格の要件を満たす。 ・相談援助実習Ⅰ・Ⅱにおける実習施設の評価及び実習日誌等の記録から面談によるフィードバックを行い、相談援助実習Ⅲが効果的に行えるようにする。実習Ⅲについては、日誌やまとめの記録等を参考として面談により評価を行う。 ・近内と島野の2名の教員が担当し巡回指導により、指導者及び実習生との質疑応答、スーパービジョンを行い目標達成に向けての指導を行う。 ・近内が、郡山中央地域地域包括支援センターでの相談業務の経験を活かして、ソーシャルワーク技術について意見を交換しスーパービジョンを行う。 実務経験:地域包括支援センターに相談業務（社会福祉士）の立場で勤務 ・島野が、片平・喜久田地域包括支援センターでの相談援助業務及び郡山市在宅医療・介護連携支援センターでのソーシャルワークの経験を活かして、実習現場でのソーシャルワークの展開についてスーパービジョンを行う。 実務経験:地域包括支援センターに相談業務（社会福祉士）で勤務、及び在宅医療・介護連携支援センターで所長・社会福祉士として勤務。 ・位置づけ・水準 HW2476			
達成目標	①ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 ②社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。 ③ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。 ④実習を振り返り、実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる総合的な能力を涵養する ディプロマ・ポリシーとの関係：論理的思考・課題解決力、倫理的・社会的責任、総合的な学習経験・創造的思考力			
受講資格	相談援助実習Ⅰ・Ⅱ修了者		成績評価 方法	実習施設の評価60%、巡回時の面談20% 実習日誌・実習報告書20%
教科書	最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習 中央法規			
参考書	特になし			
学生への要望	実習計画を明確にして、実習に臨むこと			
オフィスタイム	近内 水曜日1、2時限 島野 水曜日Ⅲ・Ⅳ時限 創学館 4 階 No.6 研究室 研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間

科目名	コミュニケーション技術B	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 1単位 選択	
担当教員	佐藤 邦子,富山 里美,加藤 三保子			
開講期	前期			
授業概要	<点字> 視覚障害者の文字である「点字」の基礎を習得する。 視覚障害者の状況について理解する。 <手話> 聴覚障害者のくらしや歴史・特性を学び、日常生活に必要な手話表現技術を習得し、手話でコミュニケーションする楽しさを体験する。 介護を必要とする聴覚障害者にあったコミュニケーション方法を学ぶ。			
達成目標	<点字> 視覚障害者の文字である「点字」の基礎を習得する。 視覚障害者の状況について理解する。 <手話> ①聴覚障害者の文化や歴史を学ぶ ②手話を学び、手話で会話する楽しさを学ぶ ③手話の学習を通して福祉の心を学ぶ			
受講資格	生活科学科福祉コース 4年生	成績評価 方法	<点字・手話> 実技及び試験で評価します 学期末テスト：90点 授業中の態度：10点	
教科書	<点字> 「初めての点訳第3版」 <手話> 手話入門講座テキスト「手話を学ぼう」			
参考書	<点字・手話>特に指定しない			
学生への要望	<点字> 休まずに出席し、点字に関心を持ってほしい <手話> 積極的な学習意欲 私語厳禁			
オフィスタイム	<点字>木曜日 授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室、授業終了後 <手話>水曜日 授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室、授業終了後			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	<点字>視覚障害者の状況、点字の歴史と概要 <手話>DVD鑑賞 第1講座	<点字> 授業の進め方、概要について話します 視覚障害の状況と点字の概要について話します <手話> 講義：聴覚障害者とのコミュニケーション方法 DVD鑑賞後感想文を書く 伝えあってみましょう	<点字> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。 <手話> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
2	<点字>点字の仮名遣い <手話>第2講座	<点字> 点字の仮名遣いについて説明と実技を行います <手話> 名前を紹介しましょう 指文字学習	<点字> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。 <手話> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	<点字>数字・アルファベット <手話>第3講座 第4講座	<点字> 点字の数字・アルファベットの仕組みについて説明し、実技を行います <手話> 家族を紹介しましょう 数字を覚えましょう	<点字> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。 <手話> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	<点字>分かち書き <手話>復習 第5講座	<点字> 点字の文の仕組みや書き方について説明し、実技を行います <手話> 第2～4講座 趣味について話しましょう 講義：ろう者の趣味について (テキスト囲み)	<点字> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。 <手話> 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	＜点字＞分かち書き ＜手話＞第 6 講座、第7講座	＜点字＞ 前回に引き続き、点字の文の仕組みについて学びます ＜手話＞ 講義：ろう者の仕事について（テキスト囲み） 住所を紹介しましょう	＜点字＞ 授業内容を整理し、ノートにまとめる。 ＜手話＞ 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	＜点字＞点字の文を読む、点字 で文を書く ＜手話＞第 8 講座、第9講座	＜点字＞ 点字で文を書く練習をします また、実際の点字表示を読んでみます ＜手話＞ 時勢について話しましょう	＜点字＞ 授業内容を整理し、ノートにまとめる。 ＜手話＞ 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	＜点字＞まとめ ＜手話＞第 1 0 講座	＜点字＞ まとめと試験に向けて確認を行います ＜手話＞ 会話してみましょ～旅行について～ 名前・家族・誕生日	＜点字＞ 授業内容のまとめをおこなう。 ＜手話＞ 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	＜手話＞第11講座 復習	＜手話＞ 会話してみましょ～医療について～ 趣味・仕事・住所	＜手話＞ 授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	医療的ケアⅡ		対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 1単位 選択
担当教員	藤田 京子,茂木 光代			
開講期	前期			
授業概要	〔授業の目的・ねらい〕 ①介護職員が「喀痰吸引」「経管栄養」を行うに当たり、適切かつ安全に行為を行うことができるよう、対象者の健康状態及び生活を総合的に把握する ②「喀痰吸引」「経管栄養」実施のため、確実な手技を習得する 〔授業全体の内容の概要〕 ①「喀痰吸引」「経管栄養」について、根拠に基づく手技が実施できるよう、基礎的知識、実施手順方法を理解する ②救急蘇生法についての手技を学ぶ。 第1回～10回 ：講義形式 第11 回～15回 ：演習 第16回～30回 ：演習評価 担当： 藤田・茂木 <藤田> 実務経験：医療機関に勤務していた経験を活かし、医療的な支援についての授業を行う。 実務経歴：看護師として医療機関に勤務。 <茂木> 実務経験：看護師としての実務経験をもとに生活支援技術について授業を行う。 実務経歴：大学病院で看護婦として勤務。 課題に対するフィードバック ・実技試験を各項目ごとに5回実施していく中で、未達成な部分について適宜指導していく。 位置づけ・水準 DW2433			
達成目標	〔授業終了時の到達目標〕 ①介護職員が「喀痰吸引」「経管栄養」を行うに当たり、適切かつ安全に行為を行うことができるよう、対象者の健康状態及び生活を総合的に把握する。 ②「喀痰吸引」「経管栄養」実施のための確実な手技を習得する。 単位認定の最低基準：②「喀痰吸引」「経管栄養」実施のための確実な手技を10割習得する。 ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、倫理的・社会的責任、総合的な学習経験・創造的思考力			
受講資格	生活科学科福祉コース		成績評価 方法	実技試験90%、レポート10%
教科書	中央法規出版「医療的ケア」			
参考書	授業の中で随時紹介			
学生への要望	主体的、積極的な姿勢で授業に取り組むこと。 授業を欠席しないこと。			
オフィスタイム	藤田：月・木曜日 3時限目 創学館No.2研究室 茂木：授業終了後			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①ガイダンス：授業内容の説明 ②たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	喀痰吸引の実施手順及び留意点を確認する。	30
2	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	喀痰吸引の実施手順及び留意点を確認する。	30
3	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	喀痰吸引の実施手順及び留意点を確認する。	30
4	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	喀痰吸引の実施手順及び留意点を確認する。	30

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
5	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	喀痰吸引の実施手順及び留意点を確認する。	30
6	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	喀痰吸引の実施手順及び留意点を確認する。	30
7	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	経管栄養の実施手順及び留意点を確認する。	30
8	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	経管栄養の実施手順及び留意点を確認する。	30
9	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	経管栄養の実施手順及び留意点を確認する。	30
10	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」実施手順 藤田・茂木	①たんの吸引・経管栄養の技術と留意点	経管栄養の実施手順及び留意点を確認する。	30
11	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」演習 藤田・茂木	①口腔内吸引の技術と留意点 ②喀痰吸引演習	喀痰吸引の留意点を考慮し、演習内容のイメージトレーニングを行う。	30
12	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」演習 藤田・茂木	①鼻腔内吸引の技術と留意点 ②喀痰吸引演習	喀痰吸引の留意点を考慮し、演習内容のイメージトレーニングを行う。	30
13	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」演習 藤田・茂木	①気管カニューレ内吸引の技術と留意点 ②喀痰吸引演習	喀痰吸引の留意点を考慮し、演習内容のイメージトレーニングを行う。	30
14	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」演習 藤田・茂木	①経鼻経管栄養の技術と留意点 ②経鼻経管栄養演習	経管栄養の留意点を考慮し、演習内容のイメージトレーニングを行う。	30
15	高齢者及び障害児・者の「喀痰吸引」「経管栄養」演習 藤田・茂木	①胃ろう・腸ろうによる経管栄養の技術と留意点 ②胃ろう・腸ろう経管栄養演習	経管栄養の留意点を考慮し、演習内容のイメージトレーニングを行う。	30
16	演習評価 藤田・茂木	口腔内吸引	実技テストに向け練習する。	30
17	演習評価 藤田・茂木	口腔内吸引	実技テストに向け練習する。	30
18	演習評価 藤田・茂木	口腔内吸引	実技テストに向け練習する。	30
19	演習評価 藤田・茂木	鼻腔内吸引	実技テストに向け練習する。	30
20	演習評価 藤田・茂木	鼻腔内吸引	実技テストに向け練習する。	30
21	演習評価 藤田・茂木	鼻腔内吸引	実技テストに向け練習する。	30
22	演習評価 藤田・茂木	気管カニューレ内吸引	実技テストに向け練習する。	30
23	演習評価 藤田・茂木	気管カニューレ内吸引	実技テストに向け練習する。	30
24	演習評価 藤田・茂木	気管カニューレ内吸引	実技テストに向け練習する。	30
25	演習評価 藤田・茂木	経鼻経管栄養	実技テストに向け練習する。	30
26	演習評価 藤田・茂木	経鼻経管栄養	実技テストに向け練習する。	30
27	演習評価 藤田・茂木	胃ろう経管栄養	実技テストに向け練習する。	30
28	演習評価 藤田・茂木	胃ろう経管栄養	救急蘇生法についてテキストで振り返る	60
29	演習評価 藤田・茂木	救急蘇生法	喀痰吸引や経管栄養についての実施手順や留意点をまとめて提出する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
30	演習評価 藤田・茂木	救急蘇生法	喀痰吸引や経管栄養についての実施手順や留意点をまとめて提出する。	60

科目名	人体の構造と機能	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択	
担当教員	大西 弘太郎			
開講期	前期			
授業概要	解剖学についての基本的な知識を学ぶ。 生理学についての基本的な知識を学ぶ。 主な疾患の成り立ちについて学ぶ。 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに講義を行う。 実務経験：医師として医療機関に勤務している。 随時、小テストを行い、単なる答え合わせだけではなく、解説を行い、全員にフィードバックを行う。 位置づけ・水準 HW2331			
達成目標	単位認定の最低基準：解剖学および生理学の基本を理解できていること。主な生活習慣病の成り立ちの基本を理解できていること。 ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、論理的思考・問題解決力			
受講資格	家政学部 人間生活学科福祉コース 4年	成績評価 方法	小テスト (20%) レポート (80%)	
教科書	人体の構造と機能及び疾病 第4版 弘文堂			
参考書	特になし			
学生への要望	双方向の授業を期待します。 学生の理解度などによりシラバスは適宜変更されることがある。			
オフィスタイム	臨床医学研究室 火曜日 13:00～17:00。 木曜日 13:00～14:30。 金曜日 08:30～17:00。			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	栄養と代謝 糖尿病の諸問題	栄養と代謝 糖尿病はいまや社会問題 糖尿病はなぜ危険か 糖尿病とは 糖尿病の分類	糖尿病について予習・復習をしましょう。	120
2	栄養と代謝 糖尿病の諸問題	糖代謝の動態とインスリンの働き 糖尿病慢性合併症 糖尿病になりにくいライフスタイル	糖尿病について予習・復習をしましょう。	120
3	消化管	食道の構造と機能 胃の構造と機能 ピロリ菌感染と消化器疾患 ピロリ菌感染の臨床的意義 予防と治療	消化管の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
4	肝臓	肝臓の構造と機能 主なウイルス性肝炎 慢性肝炎と肝臓がん 脂肪肝 予防と治療	肝臓の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
5	虚血性心疾患、不整脈	心臓の動きと急性冠症候群 突然死とは 不整脈	虚血性心疾患、不整脈について予習・復習をしましょう。	120
6	神経	神経系の構造と機能 脳卒中とは 脳卒中の分類	神経の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
7	高血圧	高血圧はなぜ危険か 高血圧の現状 高血圧と減塩	高血圧について予習・復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
8	動脈硬化 その1	動脈硬化とは 動脈硬化の種類 動脈硬化はなぜ危険か	動脈硬化について予習・復習をしましょう。	120
9	動脈硬化 その2	動脈硬化とライフスタイル	動脈硬化について予習・復習をしましょう。	120
10	認知症	認知症は社会問題 認知症の症状 認知症の分類 認知症とケア	認知症について予習・復習をしましょう。	120
11	運動器	運動器の構造と機能 サルコペニア ロコモティブシンドローム 廃用症候群の概要と予防	運動器の主な疾患について予習・復習をしましょう。	120
12	感染症	主な感染症	主な感染症について予習・復習をしましょう。	120
13	血液	貧血 白血病とは 白血病の分類 白血病の治療 分子標的薬の登場と寛解率の向上 成人T細胞性白血病型リンパ腫	貧血、血液の悪性腫瘍について予習・復習をしましょう。	120
14	腎臓の構造と機能 糸球体腎炎 ネフローゼ症候群	糸球体の構造と機能、尿管の構造と機能 急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎 ネフローゼ症候群	腎臓の構造・機能、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群について予習・復習をしましょう。	120
15	慢性腎臓病	慢性腎臓病の概念、病理、臨床症状・所見・検査、予防	慢性腎臓病について予習・復習をしましょう。	120

科目名	家族建築学	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 必修	
担当教員	山形 敏明			
開講期	前期			
授業概要	人間生活の基盤となる家族に焦点をあて、人間にとって家族とは何か、家族の機能、家族の変化等を中心に考える。 特に、家族内における高齢者、子ども、人権尊重を主題とし、福祉社会における家族のあり方を様々な視点から学ぶことを目的とする。なお、教職（家庭・栄養）を目指す人にとっては必修科目であるため、家庭科の「家族関係学」の学習領域を意識し、家族と福祉に重点を置いた内容とする。 レポートはコメントによるフィードバックを行います。 位置づけ・水準 HA2405			
達成目標	単位認定の最低基準：①家族の機能について様々な視点から考察できること。 ②家族の時代的変遷について考察できること。 ③高齢者や子どもと家族全体との関わり方の変化について考察できること。 ④授業内容の8割を理解していること ディプロマポリシーとの関係：「論理的思考力」、「倫理観、社会的責任」、「総合的な学習経験、創造的思考力」			
受講資格	人間生活学科4年生、食物栄養学科 4年生 文化学専攻科 1年生	成績評価 方法	レポート60％、プレゼンテーション20％、授業中の提出物20％	
教科書	適宜プリント及び資料配付			
参考書	その都度紹介します			
学生への要望	授業中に各自の意見を書いて提出することを数回求めます。その日のテーマをよく考え、私語を控えましょう。			
オフィスタイム	月曜日12:50～14:20、14:30～16:00 住居学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業ガイダンス	これからの授業の進め方について説明する。これまで学んだ建築学の専門科目からの視点とは異なり、生活者としての視点から建築を捉え、建築に与える家族関係等の影響について考察する。その上で、建築家としての使命や自分自身の方向性について考える。	授業内容を復習	45
2	家族の意味	家族の意味について、これまで学んだ家政学を基盤とした上で「家族と法」の視点から考察する。	授業内容を復習	45
3	現代の家族生活	今日、われわれが経験している現代の家族生活を旧来の家族生活と比較し、特質づけている点について考察することから、現代の家族生活の意義について理解を深める。	授業内容を復習	45
4	夫婦と親子	夫婦について婚姻の成立と効果、親子関係の発生とその効果について「家族と法」の視点から考察し、住生活における位置づけについて理解する。	授業内容を復習	45
5	親族扶養について	親族関係の意義と扶養の意味について理解する。それに基づき社会福祉的観点から、建築に求められている空間の創造または空間構成について考察し、これまで学んだ住宅の設計概念と結びつけて理解する。	授業内容を復習	45
6	家族についての総括	家族関係の視点からグループワークを行い、プレゼンテーションする。	レポート準備	60
7	家族と住空間	家族関係からの視点で住空間を創造する手法について学ぶ。コアシステムやスケルトンインフィルの概念を理解し、住宅の空間構成を考える。	授業内容を復習	45
8	家族関係からみた平面構成	様々な家族関係を事例に、住宅の平面構成と心理面へ与える影響について追及する。	授業内容を復習	45
9	平均寿命100歳時代に向けた住宅のあり方	平均寿命100歳時代を見据え、家族形態の変容に対応できる住宅の形態について、その可能性や問題点について考え、討論する。	授業内容を復習	45
10	屋根型の理解	建築物の外観は屋根によって決まる、と言っても過言ではない。その屋根型の基本を復讐し、球や半球等にかける屋根について検討し屋根方の違いによる空間について理解する。	授業内容を復習	45
11	段差の敷地に建つ住宅	段差のある敷地に建つ住宅とバリアフリーの関係について考え、討論する。	レポート準備	60
12	ふくしまの家	福島らしい家とは何か。気候風土や嗜好性をどう捉えるかを学ぶ。流行と風土性、建築家のエゴについて考える。	授業内容を復習	45

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
13	都市・街並みの創造 1	これまで学んだ次世代に向けた住宅形態と、街並の創造について考察する。	授業内容を復習	45
14	都市・街並みの創造 2	前授業に引き続き、街並みの創造について考察し、討論する。	レポート準備	60
15	自分自身の建築の方向性と卒業設計	建築とは人間のための空間創造である。住宅は建築並びに生活者の原点である。戦後、わが国の建築家たちは快適性ばかりを追求してきたが、東日本大震災を契機に、この姿勢に疑問符が投げかけられている。本授業では、形態を主に住宅を捉えてきたが、自分自身の建築の方向性を建築家としてのポリシーと形態（デザイン）との両面模索することを最終の授業の目的とする。さらに、自分の方向性と卒業設計とを関連付けて卒業設計のテーマを発表する。	授業内容を復習	45

科目名	建築設備	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 必修
担当教員	藤田 延幸		
開講期	前期		
授業概要	授業の到達目標及びテーマ 快適な住生活をおくるための建築設備（給排水、空調、電気）について理解する。 [履修カルテの評価項目] ○基本的な設備機器の種類とシステムについて。 ○新エネルギーについての知識とエネルギー問題について 授業の概要 快適な住生活をおくるために建築設備は必要不可欠なものである。近年は省エネルギー等により設備システムを効率よく使用することが求められている。本講義では基本的な建築設備の種類とそのシステムを理解するとともに、新エネルギーについての知識も学習する。 実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。		
達成目標	授業の到達目標及びテーマ 快適な住生活をおくるための建築設備（給排水、空調、電気）について理解する。 [履修カルテの評価項目] ○基本的な設備機器の種類とシステムについて。 ○新エネルギーについての知識とエネルギー問題について 授業の概要 快適な住生活をおくるために建築設備は必要不可欠なものである。近年は省エネルギー等により設備システムを効率よく使用することが求められている。本講義では基本的な建築設備の種類とそのシステムを理解するとともに、新エネルギーについての知識も学習する。		
受講資格	人間生活学科建築デザインコース4年生	成績評価 方法	定期試験により評価します。
教科書	「初学者の建築講座 建築設備（第二版）」著：大塚雅之 市ヶ谷出版社		
参考書	配付資料を使用します。		
学生への要望	積極的に授業に参加すること。		
オフィスタイム	月曜日授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室、授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業の概要説明	授業の概要説明	授業内容を整理する。	30
2	建築計画と設備計画の関わりを講義し、設備の役割、意義を考える。	建築計画と設備計画の関わりを講義し、設備の役割、意義を考える。	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
3	給排水設備について	給排水設備について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
4	住宅の中で最も設備が集中する台所、浴室、トイレ等の給排水設備の計画について	住宅の中で最も設備が集中する台所、浴室、トイレ等の給排水設備の計画について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
5	事務所ビルの給排水設備の計画について	事務所ビルの給排水設備の計画について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
6	事務所ビルの空調システムについて	事務所ビルの空調システムについて	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
7	事務所ビルの機械換気の種類と方式、全熱交換機の仕組みについて	事務所ビルの機械換気の種類と方式、全熱交換機の仕組みについて	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
8	住宅の電気設備計画について	住宅の電気設備計画について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
9	事務所ビルの電気設備計画について	事務所ビルの電気設備計画について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
10	ガス設備、消火設備、給湯設備、通信設備等について	ガス設備、消火設備、給湯設備、通信設備等について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
11	防災設備について	防災設備について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
12	建築物のライフサイクルからLCEやLCCO2について	建築物のライフサイクルからLCEやLCCO2について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
13	新エネルギー（燃料電池、地下水、風力等）の設備への応用について	新エネルギー（燃料電池、地下水、風力等）の設備への応用について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60
14	太陽エネルギー利用について	太陽エネルギー利用について	教科書を読む。授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
15	「エネルギー使用の合理化に関する法律」について	「エネルギー使用の合理化に関する法律」について	授業内容を整理し、ノートにまとめる。	60

科目名	建築設計製図Ⅳ		対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 10単位 必修
担当教員	山形 敏明,阿部 恵利子,高橋 真里, 長田 城治			
開講期	通年			
授業概要	建築設計製図Ⅳ前期では、これまでに修得した構造、法規、計画等を踏まえた綿密な各種計画を基に、各自のオリジナリティを表現することを目的とします。後期では4年間の集大成として、卒業設計制作に取り組みます。 また、総合的な学修経験が得られる各種外部施設の見学会に参加し、授業内で学修した内容を振り返ることで、知識や技術を身につけます。 課題はコメントによるフィードバックを行い、学年末に返却します。 位置づけ・水準 HA242			
達成目標	【履修カルテ】 ①実施設計に結びつく程度の完成度でオリジナル設計ができたか。 ②適切なテーマ設定、計画で卒業設計に取り組むことができたか。 ③計画したスケジュールに沿って卒業設計を完成できたか。 単位認定最低基準：「指導内容の8割を理解しているともに、法規内容が適切に反映され、オリジナリティがあり卒業学年にふさわしい設計ができていること」 ディプロマポリシーとの関係：「論理的思考力、問題解決力」「倫理観、社会的責任」「総合的な学習経験、創造的思考力」			
受講資格	建築デザインコース4年		成績評価 方法	製図及び模型等の課題提出80％、授業への取り組み（二級建築士試験対策問題を含む）20％。
教科書	『新しい建築製図』学芸出版社			
参考書	課題に対応した参考書を随時紹介します。			
学生への要望	プレゼンテーション能力を高めるよう心掛けてください。			
オフィスタイム	前期：月曜日14：30～16：00 水曜日14:30～16:00 後期：月曜日8：50～10：20 木曜日10:30～12:00 山形：本館3F No.1 住居学研究室 阿部・高橋：家政学館4F 生活科学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	授業ガイダンス、課題1「商品化住宅」 担当：山形・阿部・高橋 ※担当教員は最低2名以上で指導する。	ガイダンス（前期授業目標等）・課題説明・資料収集	課題1作成 エスキス・CAD図面・模型製作	60
2	課題1「商品化住宅」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキス	課題1作成 エスキス・CAD図面・模型製作	60
3	課題1「商品化住宅」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題1作成 エスキス・CAD図面・模型製作	60
4	課題1「商品化住宅」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題1作成 エスキス・CAD図面・模型製作	60
5	課題1「商品化住宅」提出 担当：山形・阿部・高橋	提出・プレゼンテーション	課題1作成 CAD図面・模型製作・パネル作成	90
6	課題1「商品化住宅」 担当：山形・阿部・高橋	プレゼンテーション	課題1作成 CAD図面・模型製作・パネル作成	90
7	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキス 近年の深刻化した地域医療への抜本的対策を主眼とした、地域に特化した魅力ある病院設計というコンセプトを中心にエスキスチェックを行う。	課題2作成 エスキス	60
8	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキス 近年の深刻化した地域医療への抜本的対策を主眼とした、地域に特化した魅力ある病院設計というコンセプトを中心にエスキスチェックを行う。	課題2作成 エスキス	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
9	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキス 近年の深刻化した地域医療への抜本的対策を主眼とした、 地域に特化した魅力ある病院設計というコンセプトを中心に エスキスチェックを行う。	課題2作成 エスキス	90
10	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	60
11	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	90
12	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	90
13	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	60
14	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	90
15	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	90
16	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 エスキス・CAD図面・模型製 作	60
17	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作	60
18	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作	60
19	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作	60
20	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作	60
21	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作	60
22	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作・パネル 作成	120
23	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作 要求図面をCADにて作成する。	課題2作成 CAD図面・模型製作・パネル 作成	120
24	課題2「病院」提出 担当：山形・阿部・高橋	提出・プレゼンテーション	課題2作成 CAD図面・模型製作・パネル 作成	120
25	課題2「病院」 担当：山形・阿部・高橋	プレゼンテーション	課題2作成 CAD図面・模型製作・パネル 作成	120
26	課題3 「幼稚園・保育園・子 ども園」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキスチェック	課題3作成 エスキス・CAD図面作成	60
27	課題3 「幼稚園・保育園・子 ども園」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキスチェック	課題3作成 エスキス・CAD図面作成	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
28	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
29	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
30	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
31	商業施設士2次試験対策講座 担当：山形・阿部・高橋	平面図、パース図面作成	商業施設士対策問題 パース図作成	120
32	商業施設士2次試験対策講座 担当：山形・阿部・高橋	平面図、パース図面作成	商業施設士対策問題 パース図作成	120
33	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
34	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
35	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
36	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
37	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	60
38	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
39	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
40	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」提出 担当：山形・阿部・高橋	提出・プレゼンテーション	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	90
41	課題3 「幼稚園・保育園・子ども園」 担当：山形・阿部・高橋	プレゼンテーション	課題3作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	90
42	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	課題説明・資料収集	課題4作成 資料収集・エスキス	60
43	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集	課題4作成 資料収集・エスキス	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
44	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集	課題4作成 資料収集・エスキス	60
45	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集	課題4作成 資料収集・エスキス	60
46	授業ガイダンス・課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	ガイダンス（後期授業目標等）資料収集・エスキス	課題4作成 資料収集・エスキス	60
47	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキス	課題4作成 資料収集・エスキス 二級建築士対策問題	60
48	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集・エスキス 【二級建築士試験対策1】	課題4作成 資料収集・エスキス	60
49	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題4作成 エスキス・CAD図面・模型製作 二級建築士対策問題	60
50	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 【二級建築士試験対策2】	課題4作成 エスキス・CAD図面・模型製作	60
51	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題4作成 エスキス・CAD図面・模型製作・パネル作成 二級建築士対策問題	120
52	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 【二級建築士試験対策3】	課題4作成 エスキス・CAD図面・模型製作・パネル作成	120
53	課題4「建築で地域活性化」提出 担当：山形・阿部・高橋	提出・プレゼンテーション	課題4作成 エスキス・CAD図面・模型製作・パネル作成	120
54	課題4「建築で地域活性化」 担当：山形・阿部・高橋	プレゼンテーション	課題4作成 エスキス・CAD図面・模型製作・パネル作成	120
55	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	課題説明・資料収集	課題5作成 資料収集・エスキス 二級建築士対策問題	60
56	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	資料収集 【二級建築士試験対策4】	課題5作成 資料収集・エスキス	60
57	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作 二級建築士対策問題	90
58	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 【二級建築士試験対策5】	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作	90
59	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 担当：山形・阿部・伊藤	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成 二級建築士対策問題	150
60	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作 【二級建築士試験対策6】	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
61	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	中間提出・プレゼンテーション	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成 二級建築士対策問題	120
62	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	プレゼンテーション 【二級建築士試験対策7】	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	150
63	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	エスキス・製図（CAD）・模型制作	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作 二級建築士対策問題	90
64	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作 【二級建築士試験対策8】	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	60
65	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作 担当：山形・阿部・伊藤	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	90
66	課題5「卒業設計」中間提出 担当：山形・阿部・高橋	中間提出・プレゼンテーション	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
67	課題5「卒業設計」中間提出 担当：山形・阿部・高橋	中間提出・プレゼンテーション	課題5作成 エスキス・CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
68	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	90
69	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	90
70	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	60
71	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	60
72	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
73	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	製図（CAD）・模型制作・プレゼンボード製作	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
74	課題5「卒業設計」提出 担当：山形・阿部・高橋	提出・プレゼンテーション	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120
75	課題5「卒業設計」 担当：山形・阿部・高橋	プレゼンテーション	課題5作成 CAD図面作成・模型製作・パネル作成	120

科目名	職業指導	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 選択	
担当教員	長田 城治,山本 裕詞			
開講期	前期			
授業概要	職業指導とは、高校生が自己の将来の「進路・職業」を選択できるように援助する教育活動のことを示します。 高等学校において職業指導は、進路指導という名の基に実践され、生徒の進学や就職に関わる事項だけでなく、個々の人生設計や自己の在り方生き方を主体的に創造するための教育活動として重要な役割を担っています。 そのため同講義では、自分自身と職業への理解を促すキャリア教育を実践し、それらの指導力を身につけていくことを目標とします。 また、工業高等学校での教員の経験を活かして、工業高等学校ならではの進路傾向や業界の現状、進路指導の実践について解説します。 最終授業で全体に対するフィードバックを行い、課題やレポートについては、授業内で講評し、改善点などを解説します。 位置づけ・水準：HA2327			
達成目標	①高等学校の進路指導について、地域の事例を把握することができたか。 ②生徒のキャリア発達を促す方策について具体的な例を挙げることができるか。 ③学生自身の人生設計を具体的にプランニングできたか。 単位認定の最低基準は、内容の7割を理解すること、および他者の職業指導のアドバイスを授業で得た知識を活かして実践できること。 ディプロマポリシーとの関係：知識・理解、倫理観・社会的責任、総合的な学習経験・創造的思考力			
受講資格	建築デザインコース	成績評価 方法	①プレゼンテーション（自己PR、業界研究など）50％ ②レポート 50％	
教科書	特になし 必要に応じてプリントを配布します。			
参考書	特になし			
学生への要望	本授業は、アクティブラーニングの手法を用いて、学生の主体的な活動や意見交換をしながら行うため、遅刻・欠席がないよう注意すること。 事前学修：新聞やニュースなどで取り上げられた建設業界に関する記事を読み、最新の動向についても把握するように努めること。（1時間） 事後学修：授業内の課題やレポートにしっかりと取り組むこと。（1時間）			
オフィスタイム	長田：月曜日9:10～10:30、水曜日14:40～16:00、本館4F No.2 住居学研究室 山本：月曜日9:10～10:30、水曜日14：40～16：00、図書館3F No.1教職課程推進室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	ガイダンス(長田)	「職業指導」15回の授業の概要について講義し、本授業で何を学ぶかを理解する。また、工業高校とはどのような特色を持つ高校なのかを理解する。	工業高校の現状を把握するため、福島県近郊の工業系高校の所在と学校の特徴を把握する。	120
2	教職員の基本的な資質および職業指導から進路指導への転換(長田)	工業高校の教職員として必要な基本的な資質・能力を学ぶ。また、高等学校で実施された職業指導の実践内容を学習し、現在実施される進路指導に転換した歴史的背景を学ぶ。	授業で学修した内容を振り返り、教員の資質と進路指導の動向を時系列に理解する。	120
3	大学入試の現状と問題点(長田)	現在の大学入試の方法を学習し、これから変更となる入試制度の概略を理解する。	大学入試制度の要点を整理し、そのための学習方法を自身の経験則を基にまとめる。	120
4	自己理解(長田)	自身を理解し、自己PRやES（エントリーシート）を作成して発表する。	授業で指摘された内容を踏まえて、自己PRとESを改善する（レポート課題）。	120
5	高等学校学習指導要領工業編の内容と構成（長田・山本）	高等学校学習指導要領工業編の背景としての、中教審における産業教育観について、理解する。	予習として自身の職業感についてまとめておく。	120
6	「工業科の各科目」理解と職業人として必要となる資質形成1（長田・山本）	高等学校学習指導要領工業編の構成を理解した上で、研究調査対象とする各科目の割り当てを決める。	担当することが決まった各科目内容と科目と結びつく産業概要について調査研究を行い、発表資料を作成する。（プレゼンの作成）	120
7	「工業科の各科目」理解と職業人として必要となる資形成2（長田・山本）	研究調査した「工業科の各科目」について発表し、卒後の職業人としての在り方や必要とされる資質について話し合い、職業指導を意識した授業等の在り方を考察する。	担当することが決まった各科目内容と科目と結びつく産業概要について調査研究を行い、発表資料を作成する。（プレゼンの作成）	120
8	「工業科の各科目」理解と職業人として必要となる資質形成3（長田・山本）	研究調査した「工業科の各科目」について発表し、卒後の職業人としての在り方や必要とされる資質について話し合い、職業指導を意識した授業等の在り方を考察する。	担当することが決まった各科目内容と科目と結びつく産業概要について調査研究を行い、発表資料を作成する。（プレゼンの作成）	120
9	「工業科の各科目」理解と職業人として必要となる資質形成4（長田・山本）	研究調査した「工業科の各科目」について発表し、卒後の職業人としての在り方や必要とされる資質について話し合い、職業指導を意識した授業等の在り方を考察する。	担当することが決まった各科目内容と科目と結びつく産業概要について調査研究を行い、発表資料を作成する。（プレゼンの作成）	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	「工業科の各科目」理解と職業人として必要となる資質形成5 (長田・山本)	研究調査した「工業科の各科目」について発表し、卒後の職業人としての在り方や必要とされる資質について話し合い、職業指導を意識した授業等の在り方を考察する。	担当することが決まった各科目内容と科目と結びつく産業概要について調査研究を行い、発表資料を作成する。 (プレゼンの作成)	120
11	「工業科の各科目」理解と職業人として必要となる資質形成6 (長田・山本)	研究調査した「工業科の各科目」について発表し、卒後の職業人としての在り方や必要とされる資質について話し合い、職業指導を意識した授業等の在り方を考察する。	高等学校学習指導要領工業編の内容から見えてくる工業高校における職業指導の在り方について、レポートにまとめる。 (レポート課題)	120
12	就職指導慣行と新しい選考方法 (長田)	従来の就職活動で実施された選考の方法を学習する。	授業内で配布された資料を参考に、選考方法を復習する。	120
13	工業系高校の進路傾向とその業界研究1 (長田)	高等学校における進路の傾向を学び、どのような職種を選択し、その業界がどのような特徴を持つのかについて、特徴的な企業を例に出しながら講義を行う。	授業内で紹介した業界について、具体的な企業を自身で選択し、その特徴をまとめる。(プレゼンの作成)	120
14	工業系高校の進路傾向とその業界研究2 (長田)	全快の授業を参考に、自信が担当した職種や業種などについて、特徴的な企業を例に出しながらプレゼンする。	授業内で紹介した業界について、具体的な企業を自身で選択し、その特徴をまとめる。(プレゼンの作成)	120
15	職業指導の問題と今後の在り方 (長田)	少子化による生徒数の減少と情報化社会における職業の多様化に伴い、今後の職業指導に対するスキルは、多くの知識や経験が必要になるであろう。本講義では、これまでの授業内で得た知識を振り返り、今後どのようにして生徒指導、進路指導すべきか課題をまとめ、今後の方策を考える講義を行う。	本講義の達成授業と自身の現状を照らし合わせ、必要な能力が得られたのか理解する。	120

科目名	教育実習Ⅰ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 1単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 1単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 1単位 選択
担当教員	山本 裕詞,瀬谷 真理子		
開講期	前期		
授業概要	教育実習の意義、内容、方法、手続き、実習中の態度や配慮事項について学び、実習にスムーズに入れるようにするとともに、学生の身分のままで生徒に対しては指導者となることの立場や責任の重さを理解する。 教育実習終了後は、実習体験のまとめを発表し、同時に他の実習生の発表を聞くことで、問題点の整理と解決を図りながら、教師としての望ましい姿を追求していく下地を涵養する。 事前指導に関しては、ワークシートに既卒者の日誌から学んだ記載上のポイントまとめて提出し、添削してフィードバックする。事後指導においては、実習体験の発表内容を互いに評価し、評価表をフィードバックする。また、課題であるリフレクションシートを評価し、必要に応じてコメントを付けてフィードバックする。なお、当該授業は、中等教育や特別支援教育における教員経験を活用した指導を行う。 実務経歴：中高の教員として神奈川県立新羽高等学校、学校法人白根開善学校等で勤務。発達障害者教育の教員としてはフリースクール飛翔中等部等で勤務。 位置づけ・水準 TP9301		
達成目標	①実習生としての責任の重さを自覚できたか。 ②実習前の事前準備をすることができたか。 ③実際の指導場면을想定した学習指導案が作成できたか。 ④実習体験をふり返り、他者に伝えることができたか。 ⑤自己と他者の反省から、目指すべき教師像が描けたか。 単位認定の最低基準は、上記①～⑤の総合的評価が達成度7割以上であること。 ディプロマ・ポリシーとの関係：問題解決力、倫理観・社会的責任、創造的思考力		
受講資格	今年度「教育実習Ⅱ」への参加を認められた者	成績評価 方法	①事前指導で義務付けた提出物の内容（30点） ②事後指導時に提出させるリフレクションシート(20点) ③実習反省の発表(30点) ④最終レポート「教育実習を終えて・私の課題・」（1200字）(20点)
教科書	「教育実習－マニュアルと記録－」（本学様式。授業の最初の時間に配布する）をもとにすすめ、必要に応じて参考資料を配布する。		
参考書	早稲田大学「教育実習マニュアル」第5版（東信堂）		
学生への要望	1. 学生個人では責任の負担能力に限界があることを強く意識し、「報告」「連絡」「相談」を徹底する。 2. 積極的・主体的に学ぶ姿勢と謙虚に指導を受容する姿勢との両立を図る心構えを形成して欲しい。 3. 教育実習の受入校（生徒と教師）に対して感謝し、その気持ちの表現についても真剣に考えて欲しい。		
オフィスタイム	時間割決定後、学生のみなさんと相談して決定。 そのほかの時間帯の希望を含め、事前にy.yamamoto@koriyama-kgc.ac.jpにご連絡ください。 場所は、教職課程推進室。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション、事前指導1	・教育実習をするための必要手続き ・「教育実習Ⅰ」の授業計画、評価方法、各自の実習予定と指導時間の調整 ・教育実習の目的、準備、心構え、教員服務基準の遵守 (担当；山本)	実習日誌への実習校情報等の必要事項の記載	120
2	事前指導2	・教育実習に臨むにあたっての不安と期待（レポート） ・教育実習日誌の書き方 (先輩方の日誌を参考に、日誌の書き方のポイントを各自で抽出し、その後発表を通して気付きを共有する) ・評価と指導の一体化について (担当；山本)	復習	120
3	事前指導3	・模擬授業（道徳、特別活動）（教師役と生徒役のロールプレイングと気づきの共有） ・教科指導案（細案）の個別指導 ・実践と批判を介した修正 (担当；瀬谷)	学習指導案の修正と作成 模擬授業の準備	180

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
4	事前指導4	・模擬授業（道徳、特別活動）（教師役と生徒役のロールプレイングと気づきの共有） ・教科指導案（細案）の個別指導 ・実践と批判を介した修正 (担当：瀬谷、山本)	学習指導案の修正と作成 模擬授業の準備	180
5	事前指導5（オンデマンド授業）	・模擬授業（特別活動：教師役と生徒役のロールプレイングを介した気づきの共有） ・実践と批判を介した修正 ・学習指導案（細案）の個別指導 ・お礼状の書き方 ・実習日誌の受取について (担当：山本)	事前指導全体の振り返り 注意事項の再確認 模擬授業案の完成	180
6	事後指導1	・教育実習体験の発表(実習者のプレゼンテーション) ・他者評価と自己反省 ・リフレクションシートの作成 (担当：山本)	発表準備	120
7	事後指導2	・教育実習体験の発表(実習者のプレゼンテーション) ・他者評価と自己反省 ・リフレクションシートの作成 (担当：山本)	発表準備	120
8	事後指導3	・教育実習体験の発表(実習者のプレゼンテーション) ・他者評価と自己反省 ・リフレクションシートの作成 (担当：山本)	発表準備	120

科目名	教育実習Ⅱ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 4単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 4単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 4単位 選択
担当教員	山本 裕詞		
開講期	通年		
授業概要	教育実習の目的である以下の4点を踏まえ、日頃の学びの成果および教育実習事前指導で得たことを基に、「教師としての資質」を高めるために現場実習を行う。その際、実習巡回等の機会を通して実習体験をフィードバックし、主体的で個別的なニーズに応じた学びが展開できるようにする。したがって授業の全てが広義のアクティブラーニングとなる。巡回指導等においては、担当教員の実務経験を活かした指導が行われる。 1. 大学で学んだことを、教える立場に立って実践的に検証すること。 2. 教師のあり方や職務・使命などを、体験的に理解すること。 3. 学校の実情や生徒の実態を把握し、それらへの具体的対応や心構えを知ること。 4. 自己の教職適性や教職志望を確認すること。 実務経験：中高の教員として公立高等学校（神奈川県）、私立の中高一貫校（群馬県）、フリースクール中学部（神奈川県）等で勤務。 位置づけ・水準 TP9302		
達成目標	①教材研究を入念に行い、計画した指導案を実践できたか。 ②実習生としての身分をわきまえながら体験することで、教員としての服務基準の遵守を理解できたか。 ③教育実習日誌への簡潔で的確な記述ができたか。 ④学校の実情や生徒の実態、課題を把握することができ、その対処について指導教諭から具体的な対応策を学ぶことができたか。 ⑤実習校の先生方や生徒とのふれあいをとおして教職への志望が一層高まったか。 単位認定の最低基準は、上記①～⑤の総合的評価が達成度7割以上であること。 ディプロマポリシーとの関係 問題解決力、倫理観・社会的責任、創造的思考力		
受講資格	今年度「教育実習Ⅱ」への参加を認められた者	成績評価 方法	実習校からの評価(40%)と実習記録(30%)および実習への取り組み(30%)の割合で評価し、6割以上の総合点で合格。なお、教員採用試験等の未受験は達成目標⑤との関係から10点減点する。
教科書	教育実習 マニュアルと記録		
参考書	事前指導の際に連絡する。		
学生への要望	教育実習生としての心構えを理解し、実践できるように事前準備をしっかりと行うこと。 受け身の姿勢ではなく、主体的、積極的な姿勢で臨むこと。		
オフィスタイム	時間：時間割決定後に発表（年度末の仮設定：月曜日 1, 2 限目） 場所：教職課程推進室 1（山本研究室） そのほかの時間帯の希望を含め、事前にy.yamamoto@koryama-kgc.ac.jpにご連絡ください。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	現場実習（1日目）	実習校によるオリエンテーション 1. 教育実習の目的 2. 教育実習の心構え・諸注意 3. 現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	120
2	現場実習(2日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	120
3	現場実習(3日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
4	現場実習(4日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
5	現場実習(5日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
6	現場実習(6日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
7	現場実習(7日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
8	現場実習(8日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
9	現場実習(9日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
10	現場実習(10日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
11	現場実習(11日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
12	現場実習(12日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
13	現場実習(13日目)	実習校での現場実習（観察実習、教壇実習）	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
14	現場実習(14日目)	実習校での現場実習、研究授業での授業実践。	実習内容に関する日誌への記載 教壇実習の準備	180
15	教育実習成果のまとめ (15日目)	1. 教育実習での成果 2. 教育実習で発見した課題と解決	実習の総まとめ（実習日誌の仕上げ）	180

科目名	教職実践演習（中・高）	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 選択
担当教員	山本 裕詞		
開講期	後期		
授業概要	本演習では、以下の4項目を踏まえて授業を行う。教員として必要な資質や知識および技能の再確認を行うとともに、自己分析を通して不足している部分の補完を目指し、教員として備えるべき資質のさらなる向上を目指します。教員の授業担当はオムニバスになり、授業単元ごとのレポート等を通して、フィードバックが行われます。最終回の授業において、履修カルテの仕上げによって、教職課程全体をフィードバックします。 なお、オムニバスで担当する教員の中には、中等教育や特別支援教育における教員経験を活用した指導を行う者が複数おり、教育現場の実感を意識した学びが重視されます。授業内容の特質に応じてアクティブラーニングが取り入れられます。 実務経歴：中等教育や特別支援教育等での教員経歴がある者は、以下の通り。 小林、磯部、山本、亀田、折笠、黒沼、ホーナー。 位置づけ・水準 TP9303		
達成目標	1．使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項 ①教育現場の現状を再確認し、教師の使命と役割を理解できたか。 2．社会性や対人関係能力に関する事項 ②生徒および教職員との人間関係を円滑に進めるためのコミュニケーション能力を培うことができたか。 3．児童生徒理解や学級経営等に関する事項 ③現在の学校における生徒指導上の課題を理解し、「生徒1人ひとりへ個別に対応できる能力」と「学級集団を育成する能力」を培う。とともに「特別支援教育の現状」や「発達障害児」への指導・援助について理解できたか。 4．教科の指導力に関する事項 ④中学校の家庭科、高等学校の家庭科の教科指導を十分に遂行できる知識と技術を再確認するとともに、各自が幅広い視野で学びを深め、専門性を高めることができたか。 単位認定の最低基準は、上記①～④の総合的評価が達成度7割以上であること。 ディプロマ・ポリシーとの関係：問題解決力、倫理観・社会的責任、創造的思考力		
受講資格	教育実習Ⅰ・Ⅱを履修していること	成績評価 方法	担当教員それぞれが、各回のレポート等を10点満点で評価する。全員の評価を平均し、100点満点に換算して評価する。
教科書	教科書は使用しない。必要な資料を授業の際に、配布するので、各自ファイル等に綴じて管理すること。		
参考書	授業の際に、各担当教員より提示。		
学生への要望	受け身の姿勢ではなく、主体的、積極的な姿勢で授業に臨んで欲しい。		
オフィスタイム	時間については、時間割発表後に発表します。（前年度末時点での仮設定 山本 月曜1、2時限） 場所は、それぞれの研究室。なお、科目責任者である山本は、教職課程推進室1（図書館3F）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション （「教職実践演習（栄養教諭）」と合同） 担当：山本、野口、菊池、亀田	①教職課程における「教職実践演習」位置付けについて理解する。 ②本科目の目的、授業計画、評価方法について説明して、授業に対する心構えを作る。 ③教職採用試験受験状況、その他教職アンケート調査 ④履修カルテに関する説明	レポート 復習	90
2	「特別支援教育」の現状と課題 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：小林	いわゆる「気になる子」と特別支援教育の現状と課題について、理解を深める。	予習 レポート	120
3	教育史に学ぶ教育〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：野口	教育史の中から教育の実際にせまる。	レポート、復習	120
4	学校教育における芸術科教育 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同	学校教育における芸術科教育の意義に触れるとともに、芸術科教員から家庭科教諭や栄養教諭に望むことを理解する。	レポート	120
5	円滑なコミュニケーション・連携の方法について〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：折笠	円滑なコミュニケーションの方法について学ぶ（対児童生徒、対保護者、対同僚）	レポート 復習	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
6	円滑なコミュニケーション・連携の方法について 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：折笠	円滑なコミュニケーションの方法について学ぶ（対児童生徒、対保護者、対同僚）	レポート 復習	120
7	教師の教養としての英語表現力 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：ホーナー	英語での自己紹介力を高める。	レポート 復習	120
8	「チーム学校」の現状 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：ゲストスピーカー 郡山市教育委員会 担当：山本	教育委員会より、教育現場の経験豊かな教育行政官を招き、「チーム学校」に関する基本的な考え方と、食育を含む学校教育の現状について解説して頂く。	レポート	120
9	自己の専門性を他の専門職者へ伝える① 作戦会議と教材作成 担当：山本	栄養教諭に向けて、中高普通免許状家庭科一種の専門性を伝える工夫を考え、プレゼンテーションの準備を行う。	調査研究 プレゼンテーション準備	120
10	自己の専門性を他の専門職者へ伝える② 作戦会議と教材作成 担当：山本	栄養教諭に向けて、中高普通免許状家庭科一種の専門性を伝える工夫を考え、プレゼンテーションの準備を行う。	調査研究 プレゼンテーション準備	120
11	自己の専門性を他の専門職者へ伝える③ 作戦会議と教材作成 担当：山本	栄養教諭に向けて、中高普通免許状家庭科一種の専門性を伝える工夫を考え、プレゼンテーションの準備を行う。	調査研究 プレゼンテーション準備	120
12	自己の専門性を他の専門職者へ伝える④ 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：菊池、山本、野口、亀田	栄養教諭に向けて、中高普通免許状家庭科一種の専門性を伝える工夫を考え、プレゼンテーションを行う。	レポート	120
13	食物アレルギーと望まれる食育の在り方	栄養教諭としての実践経験を踏まえた、食物アレルギー対策と望ましい食育のあり方について、知見を深める。	レポート	120
14	音楽療法の世界に学ぶ 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：佐藤久美	音楽療法の世界に触れることで、教育現実を相対化し得る精神的素養をひろげる。	レポート	120
15	まとめ 〔「教職実践演習（栄養教諭）」と合同〕 担当：山本、菊池、野口、亀田	授業の総括を行う。 当初の目標と現在の課題を確認し、自己評価と反省を行い、レポートを提出し履修カルテを完成させる。	履修カルテの完成	120

科目名	教職キャリアデザインⅡ	対象 単位数 必選	家政学部 生活科学科生活総合コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科福祉コース 4年 2単位 選択/家政学部 生活科学科建築デザインコース 4年 2単位 選択/家政学部 食物栄養学科 4年 2単位 選択
担当教員	山本 裕詞,小林 徹,菊池 節子,折笠 国康,亀田 明美,瀬谷 真理子,磯部 哲夫,ダニエル ホーナー,黒沼 令		
開講期	前期		
授業概要	教職キャリアデザインⅡは、建学の精神に則り、教員としてのキャリア形成を目指す学生を対象にした科目である。本科目は、教員採用試験の突破に直結する実践的な力をつけることをねらいとしている。 講義は、教職教養関連の科目、専門科目、小論文、集団討議(面接練習)等から成るので、内容特性に応じてアクティブラーニングになる。 また、授業だけではなく、業者が行う模擬試験（教職教養）の受験をとおして、自己の実力を知り、結果を踏まえてキャリア形成の一助となるよう情報提供する。本科目の受講をとおして、これまでの勉学がより一層促進されることを目指す。各授業担当者によって、課題の添削等を通して個々へのフィードバックや、受講生全体の傾向を踏まえたフィードバックが行われる。 なお、担当教員の山本に関しては、中等教育における教員経験がある。学校教育の実際を経験した立場から、授業の各内容を担当することで、学校教育の実際を反映する採用試験対策、ひいては教職キャリア形成の授業としていく。 位置付け・水準 TP9002		
達成目標	①教員としてのキャリア形成を構築することができたか。 ②教員採用選考に向けて自己の実力を認識することができたか。 単位認定の最低基準は、上記①～②の総合的評価が達成度 7 割以上であること。 ディプロマ・ポリシーとの関係：知識・理解、問題解決力、倫理観・社会的責任		
受講資格	原則として、本学教職課程履修者の内、大学 4 年生、卒業生を対象とする。	成績評価 方法	取り組み姿勢30％、提出物70％の割合で総合し、「認」評価を行う。
教科書	特に指定はしない。毎回、担当教員が適宜資料を配付する。		
参考書	『教育小六法』（最新版） 志望校種の『学習指導要領』		
学生への要望	本科目の受講をとおして各自の勉学の指針となるよう積極的に受講されることを希む。		
オフィスタイム	山本：教職課程推進室 1（時間割発表後に通知） 野口：教職課程推進室 2（時間割発表後に通知）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
1	オリエンテーション 担当：山本	授業内容の説明を聴く。教員採用の現状を知り、個別相談を受ける。 教職教養に関する出題想定問題を解き、自己の現状を知る。	復習	90
2	小論文（入門編） 担当：野口	「小論文のポイント」を踏まえ、与えられたテーマをもとに、小論文を書いてみる。	課題 復習	90
3	小論文（応用編） 担当：野口	前時に書いた小論文に関し、評価を受ける。 自己の教育に対する考えを、論理的にまとめる練習をする。	課題 復習	90
4	面接指導① 担当：山本	面接指導の実際について、説明する。	受験する予定の採用試験傾向を調べて授業に臨む。 復習	90
5	面接指導② 担当：山本	志望する自治体の特色（教員養成指標等）を調べて、発表する。 志望する自治体の教員像から、具体的な教師の在り方を話し合う。	志望する自治体の教育委員会ＨＰ等から情報を収集して、授業に臨む。 復習	90
6	小論文指導(活用編) 担当：野口	小論文講座の基礎編、応用編で学修した内容を活用して、小論文を作成する。 小論文講評によって、残された課題を明確化する。	課題 復習	90
7	小論文指導（上達編） 担当：野口	基礎編、応用編、活用編での学修を踏まえ、評価を得る小論文を意識して作成する。	課題 復習	90
8	小論文指導（総仕上げ） 担当：野口	これまでの小論文講座で学修した内容を総合的に活用し、完成度の高い小論文を作成する。	課題 復習	90
9	面接指導③ 担当：山本	集団面接の在り方を学ぶ。ロールプレイを通した相互批判を行う。	復習	90

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	自学自習	目安時間
10	面接指導④ 担当：山本	採用試験対策としての討論の在り方を学ぶ。 ロールプレイを通して、討論について体験的に学ぶ。	予習：過去問集等から討論課題を予想し、 対応をシュミレートしておく。 復習	90
11	場面指導（入門編） 担当：山本	採用試験における場面指導の在り方を知り、自己の指導観 を批判的に確認する。 その際、個々の指導観の発表をもとに、全体で討議する。	復習	90
12	場面指導（応用編） 担当：山本	既に学んだ場面指導に関する基礎的理解をもとに、採用試 験を想定した場面指導について、体験的な学び（場面指導 の相互評価）を通して、さらに理解を深め、具体的に対応 できる力を身につける。	復習	90
13	教育時事 担当：山本	現在、教育現場で話題となっていることを知り、文部科学 省の方針の理解を深める。	復習	90
14	個人面接（総仕上げ） 担当：山本	自己をPRする力をつけるとともに、採用試験に対応できる 面接スキルが身につけていることを確認し、教職への意識 をさらに高める。 なお、他者の面接の様子を観察し、批判することで、自ら の面接力の向上を目指す。	復習	90
15	集団面接（総仕上げ） 担当：山本	グループで教育に関する課題について、ある結論を導き出 す体験をととして、他者と討議する力を高める。	復習	90